

III. 調査結果

1. 男女平等に関する意識について

(1) 男女の地位の平等感

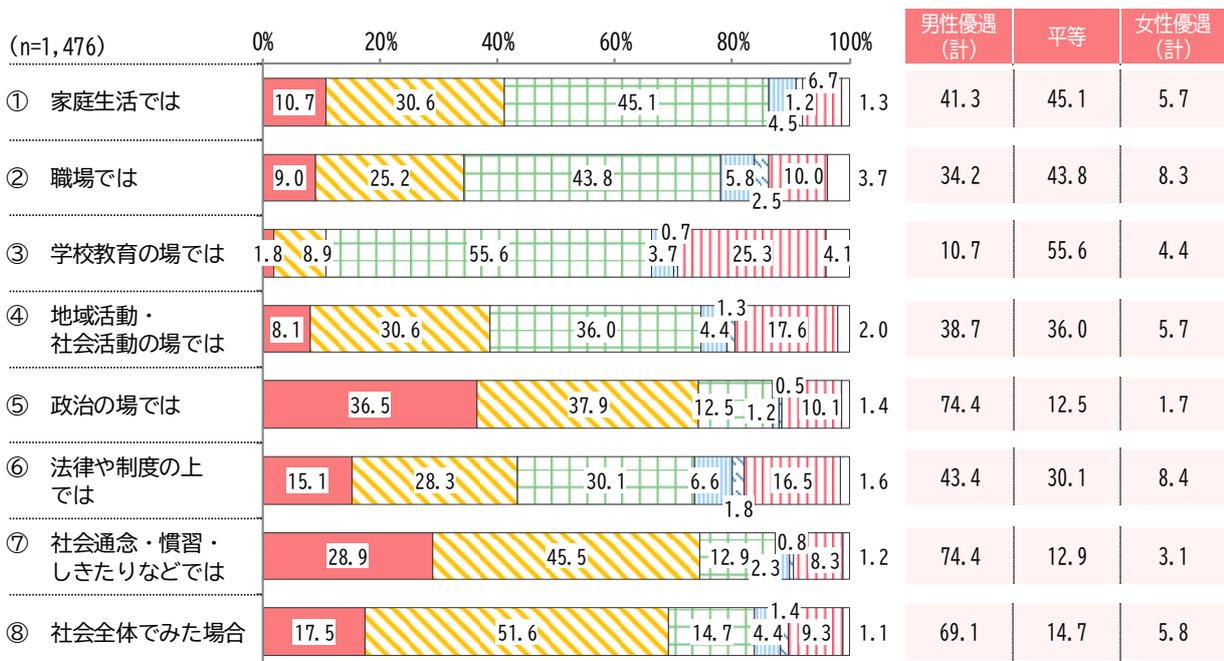
問1 次にあげる①～⑧までの分野で、あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(○はそれぞれに1つ)

8つの分野において男女が平等になっていると思うかとたずねたところ、『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」+「どちらかと言えば男性が優遇」）と『女性優遇』（「どちらかと言えば女性が優遇」）+「女性の方が優遇されている」の比較では、すべての分野で『男性優遇』が上回っている。

最も『男性優遇』の割合が高かったのは【⑤政治の場では】(74.4%)、【⑦社会通念・慣習・しきたりなど】(74.4%)となっている。次いで【⑧社会全体でみた場合】(69.1%)、【⑥法律や制度の上では】(43.4%)、【①家庭生活では】(41.3%)、【②職場では】(34.2%)、【④地域活動・社会活動の場では】(38.7%)となっている。

最も「平等」の割合が高かったのは【③学校教育の場では】が55.6%で、半数以上が「平等」と感じている。また、【①家庭生活では】(45.1%)、【②職場では】(43.8%)においては半数近くとなっている。

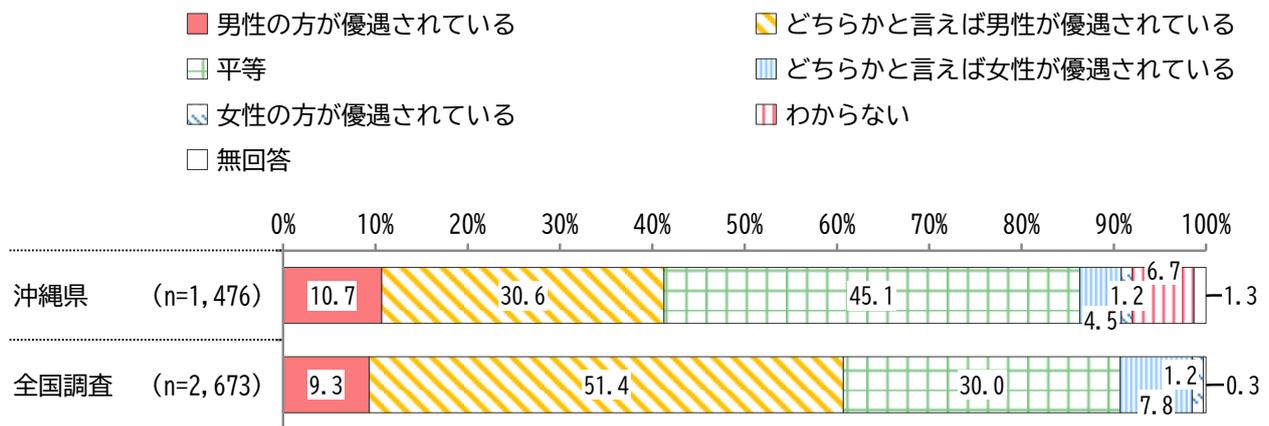
- 男性の方が優遇されている
- どちらかと言えば男性が優遇されている
- 平等
- どちらかと言えば女性が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答



① 家庭生活では

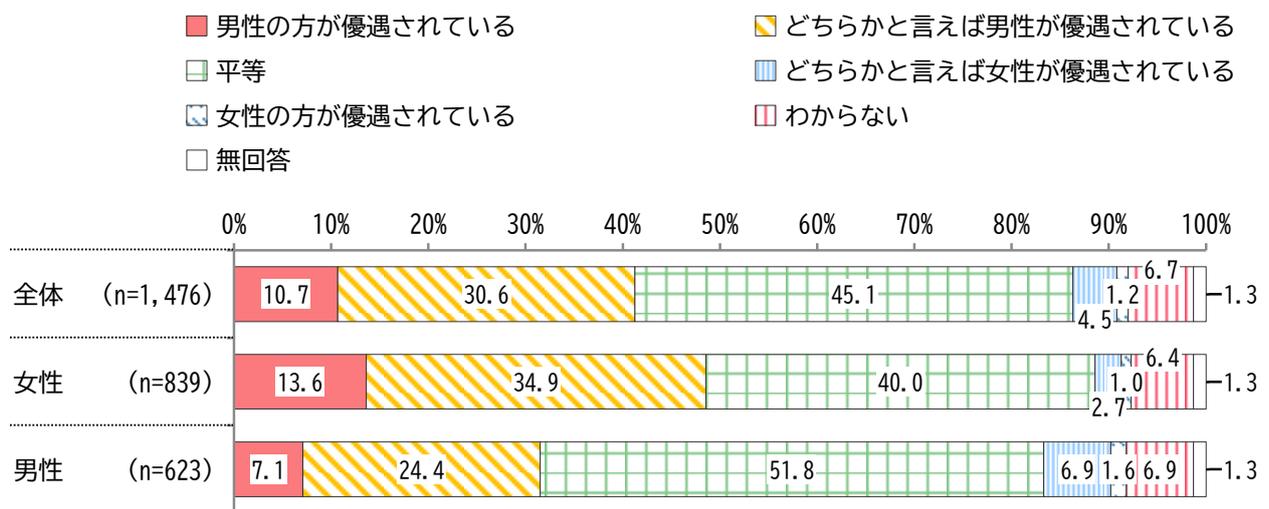
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 30.6%で全国（51.4%）より 20.8 ポイント低く、「平等」は 45.1%で全国（30.0%）より 15.1 ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は沖縄県が 10.7%、全国は 9.3%で 1.4 ポイントの差である。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は沖縄県が 4.5%、全国は 7.8%で 3.3 ポイント低い。



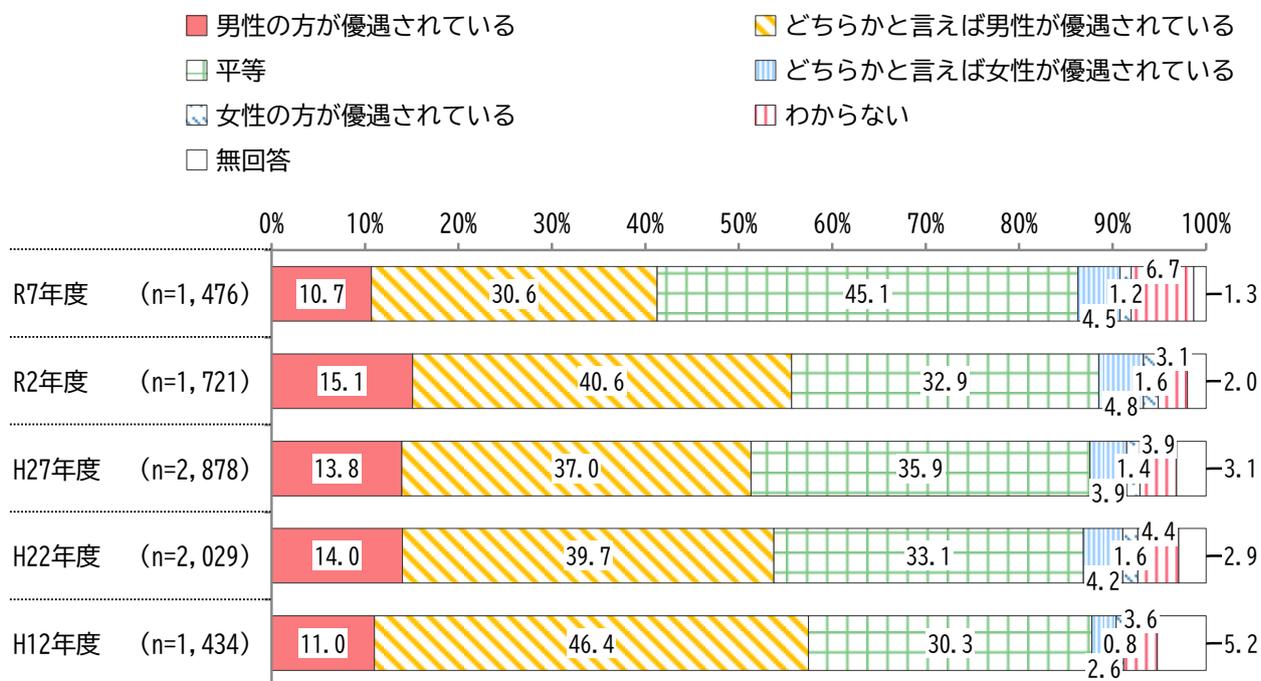
【性別比較】

- 性別でみると、「平等」は女性が 40.0%に対し男性は 51.8%となり男性の方が 11.8 ポイント高い。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は女性が 34.9%、男性は 24.4%で女性が 10.5 ポイント高い。「男性の方が優遇されている」でも女性が 13.6%、男性は 7.1%となり女性が高い。



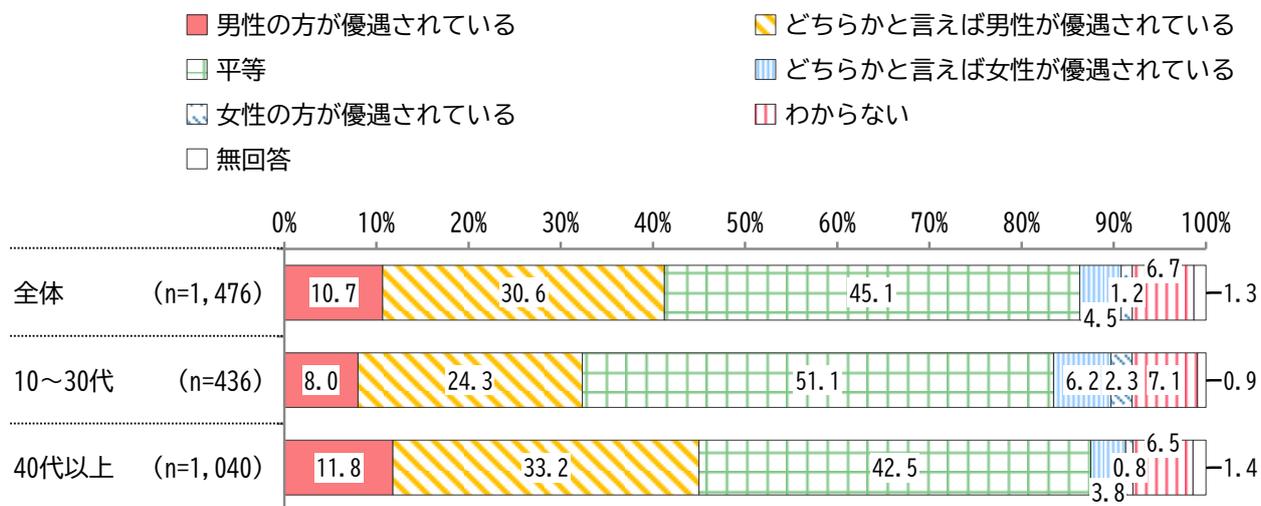
【経年比較】

- 経年で比較すると、「平等」は増加傾向にあり、R7年度はR2年度から12.2ポイント増加している。「どちらかと言えば男性が優遇されている」はH12年度（46.4%）からR2年度（40.6%）まで高く推移し、R7年度は30.6%となり低下している。「わからない」はR7年度（6.7%）が最も高く、他年度より比率が大きい。



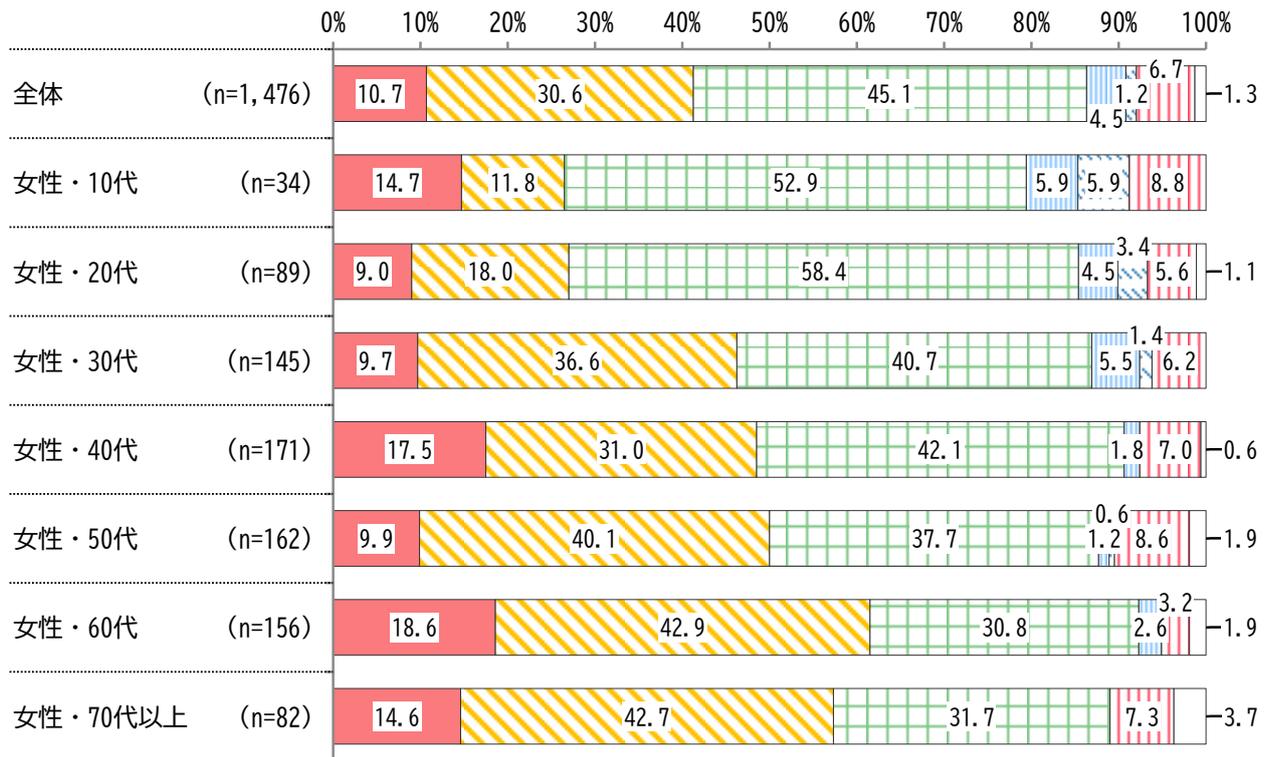
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、10～30代は「平等」が51.1%で40代以上（42.5%）より8.6ポイント高い。また、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は24.3%で40代以上（33.2%）より8.9ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は10～30代は8.0%で40代以上（11.8%）より3.8ポイント低い。



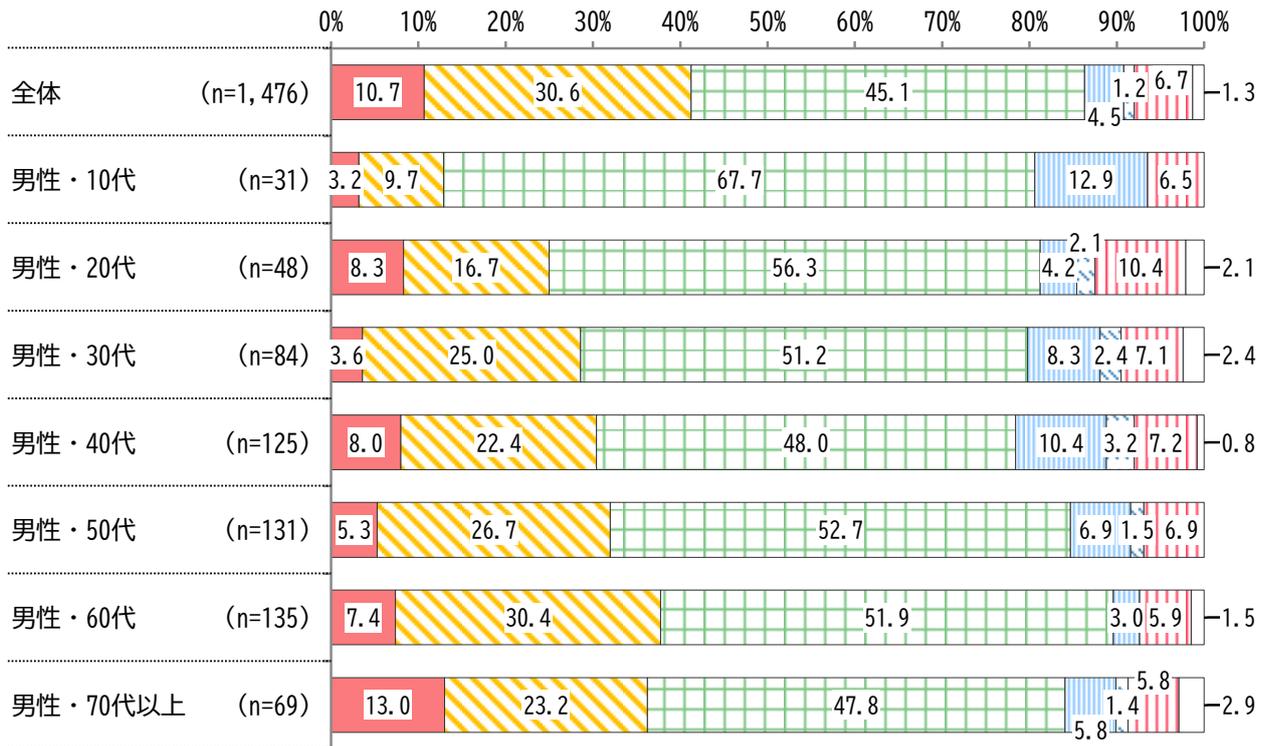
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「平等」は10代(52.9%)、20代(58.4%)が高い一方、60代(30.8%)、70代以上(31.7%)は低くなっている。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は全体で30.6%で、50代(40.1%)、60代(42.9%)、70代以上(42.7%)が高く、中高年層で男性優遇を感じる割合が高い。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「平等」は10代（67.7%）、20代（56.3%）が高い一方、70代以上（47.8%）は低くなっている。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は60代（30.4%）、50代（26.7%）が高くなっている。



【属性別比較】

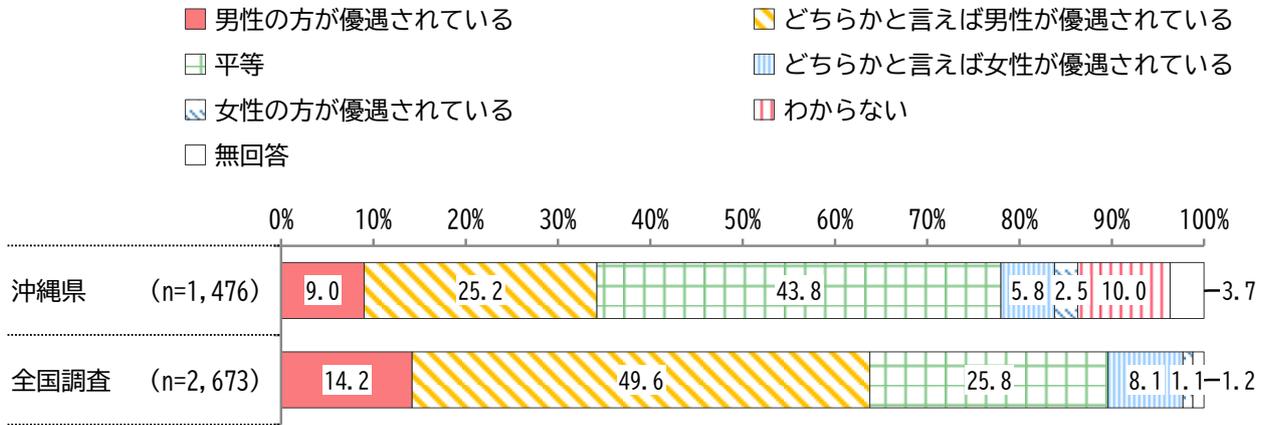
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらか と言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	10.7	30.6	45.1	4.5	1.2	6.7	1.3
性別	女性	839	13.6	34.9	40.0	2.7	1.0	6.4	1.3
	男性	623	7.1	24.4	51.8	6.9	1.6	6.9	1.3
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	10.1	27.2	48.1	5.2	2.6	6.3	0.4
	女性・40代以上	571	15.2	38.5	36.3	1.6	0.2	6.5	1.8
	男性・10～30代	163	4.9	19.6	55.8	8.0	1.8	8.0	1.8
	男性・40代以上	460	7.8	26.1	50.4	6.5	1.5	6.5	1.1
居住地	那覇	312	11.2	29.5	45.2	4.2	1.6	6.4	1.9
	北部	130	15.4	26.9	39.2	6.2	0.8	9.2	2.3
	中部	643	9.8	29.5	46.2	5.1	0.9	7.2	1.2
	南部	280	8.2	36.4	44.6	3.6	1.8	4.6	0.7
	宮古	49	18.4	30.6	46.9	-	-	4.1	-
	八重山	62	12.9	27.4	45.2	3.2	1.6	9.7	-
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	12.2	27.3	49.5	5.6	0.9	4.1	0.3
	小学生以下の子なし	643	11.7	34.8	42.9	3.4	1.1	4.7	1.4
婚姻状況	既婚	911	11.7	31.1	48.1	4.1	0.9	3.3	0.9
	パートナーと暮らしている	34	2.9	32.4	44.1	11.8	-	8.8	-
	離別・死別	141	11.3	37.6	30.5	4.3	-	14.2	2.1
	未婚	383	8.9	26.9	43.3	4.7	2.6	11.7	1.8

② 職場では

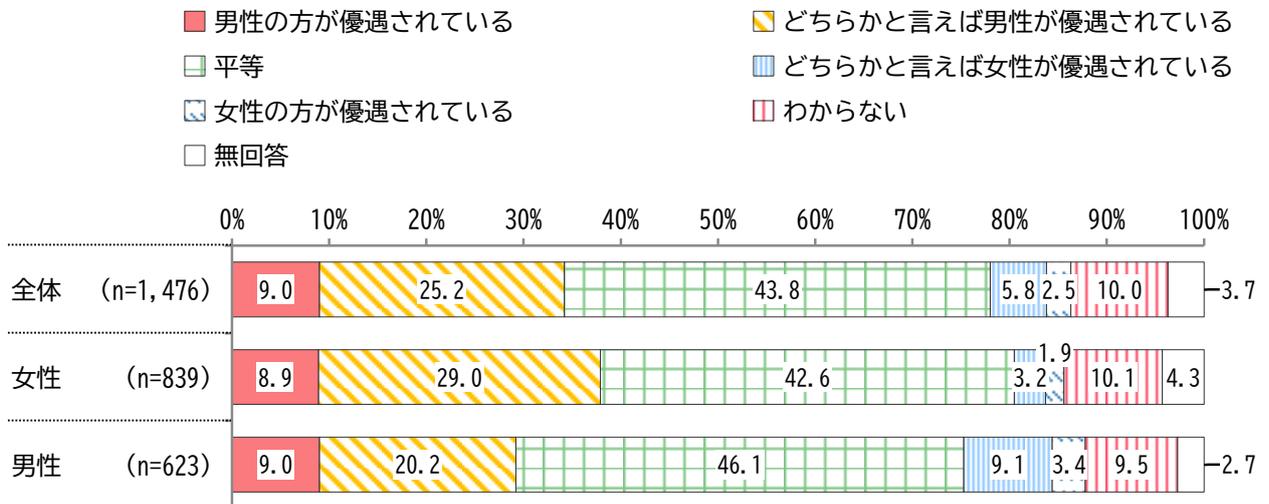
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 25.2%で全国 (49.6%) より 24.4 ポイント低く、「平等」は 43.8%で全国 (25.8%) より 18.0 ポイント高い。



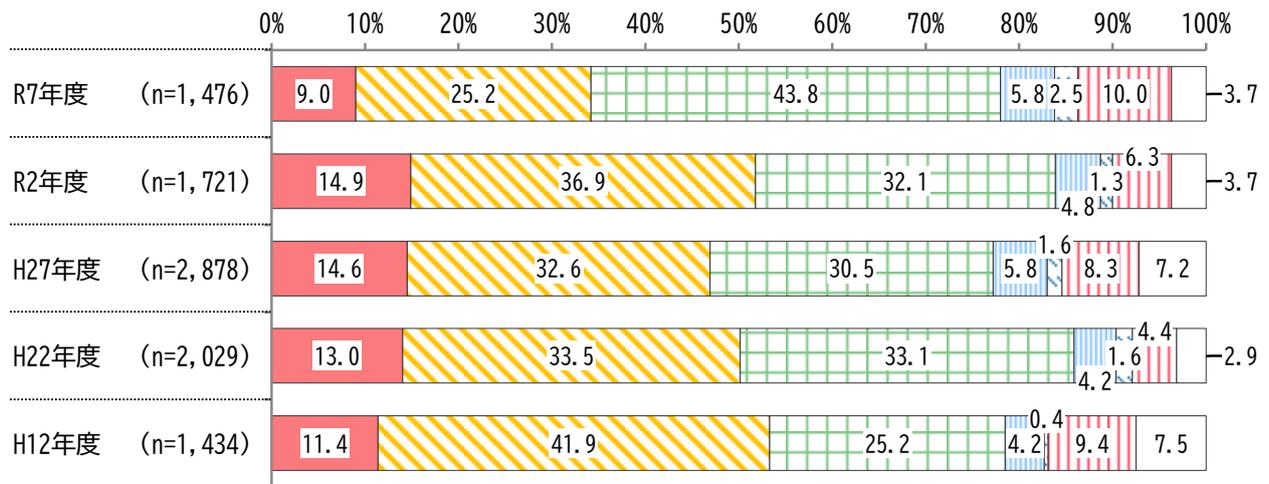
【性別比較】

- 性別で見ると、「平等」は男女ともに約4～5割となっている。一方で「どちらかと言えば男性が優遇されている」は女性 (29.0%)、男性 (20.2%) となり、女性の方が男性優遇と感じている。



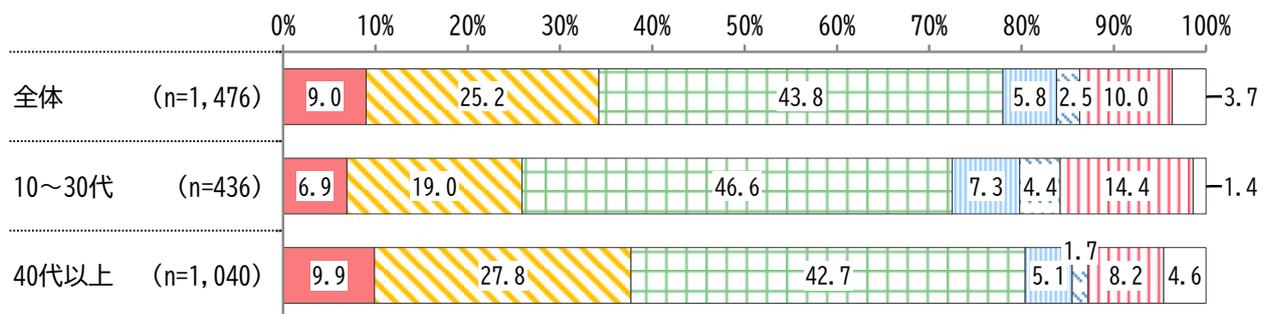
【経年比較】

- 経年で比較すると、R7年度は「平等」(43.8%)が最も高く、H12年度(25.2%)から上昇傾向にある。R2年度は「男性の方が優遇されている」(14.9%)、「どちらかと言えば男性が優遇されている」(36.9%)が最も高く、R7年度にかけて低下している。「わからない」はR7年度(10.0%)が最も高くなっている。



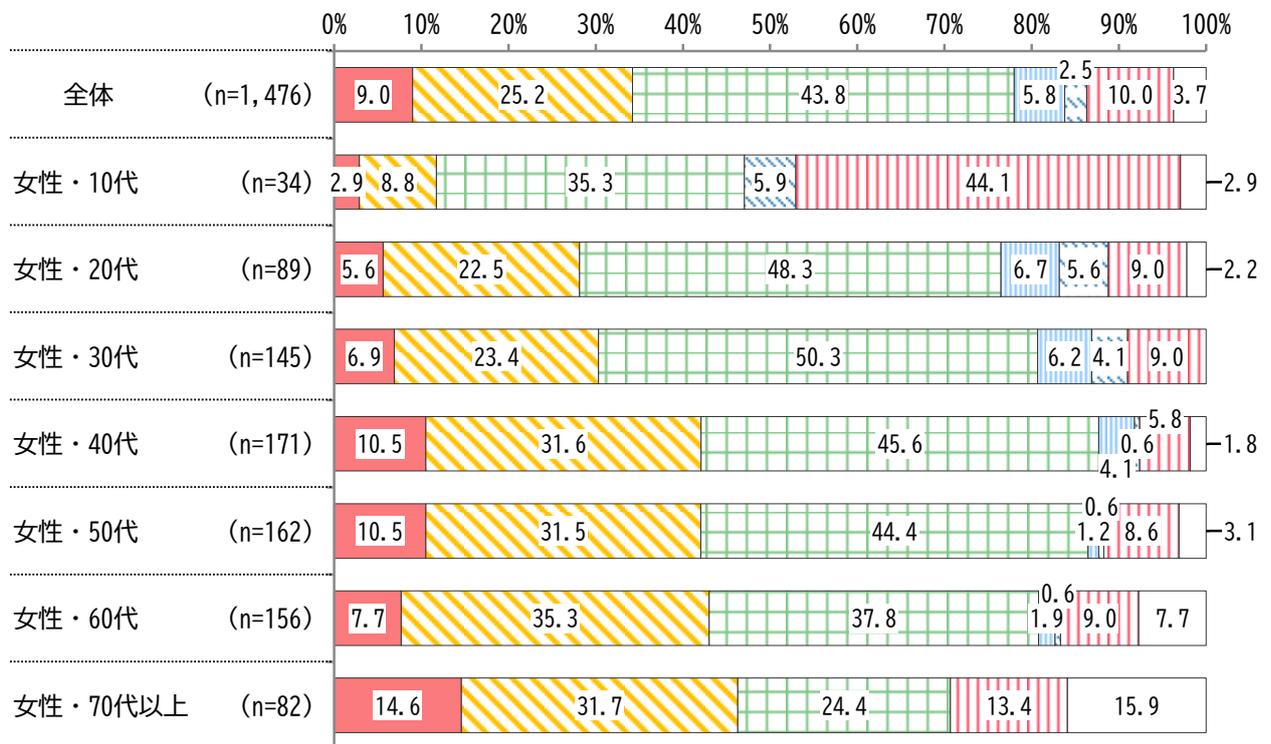
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、10~30代は「平等」が46.6%で40代以上(42.7%)より3.9ポイント高く、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は19.0%で40代以上(27.8%)より8.8ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は10~30代が6.9%で40代以上(9.9%)より3.0ポイント低い。



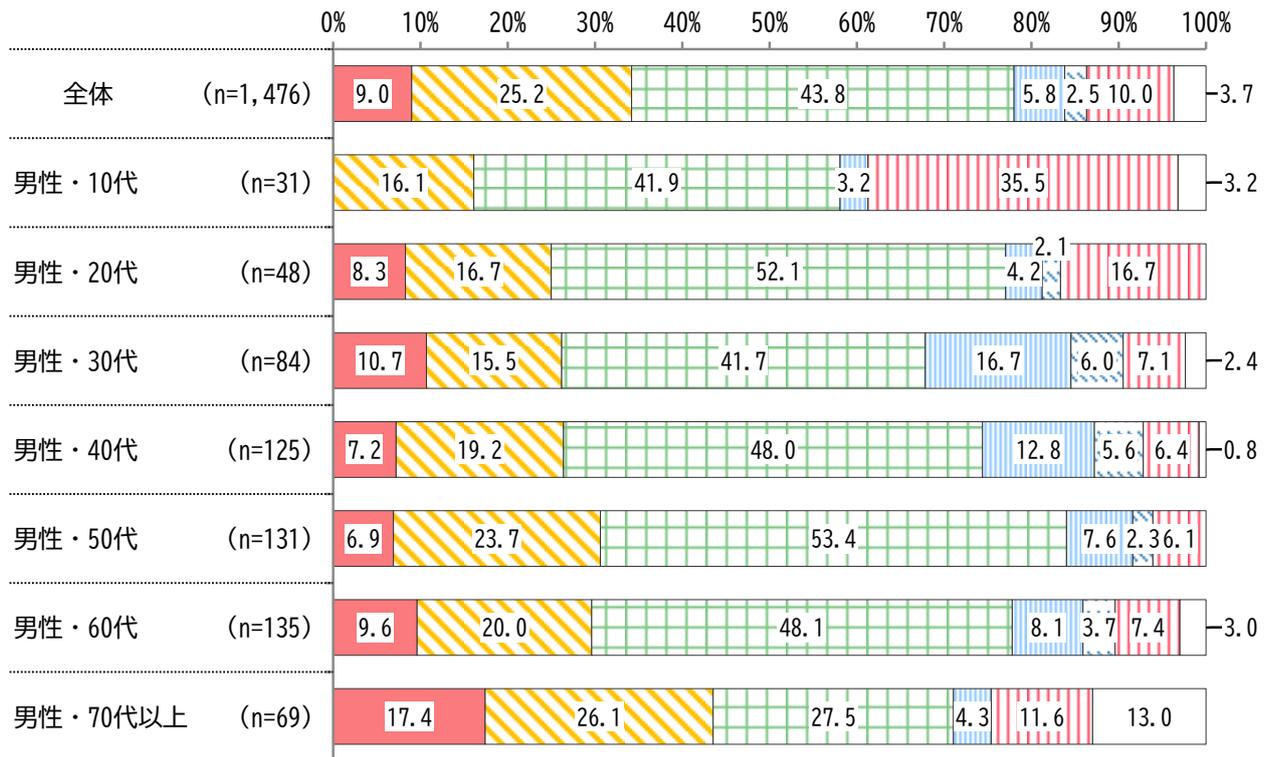
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「平等」は20代（48.3%）と30代（50.3%）が高い一方、70代以上（24.4%）は低く若年層との差が大きい。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は全体（25.2%）で40代（31.6%）、50代（31.5%）、60代（35.3%）が高く、中高年層で男性優遇の認識が強い。「わからない」は10代が44.1%と突出して高く、判断が難しい層が多いことが特徴である。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「平等」は20代（52.1%）と50代（53.4%）が高い一方、70代以上（27.5%）は低くなっている。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は70代以上（26.1%）、50代（23.7%）が高い。「男性の方が優遇されている」は70代以上（17.4%）が最も高く、他年代との差が大きい。



【属性別比較】

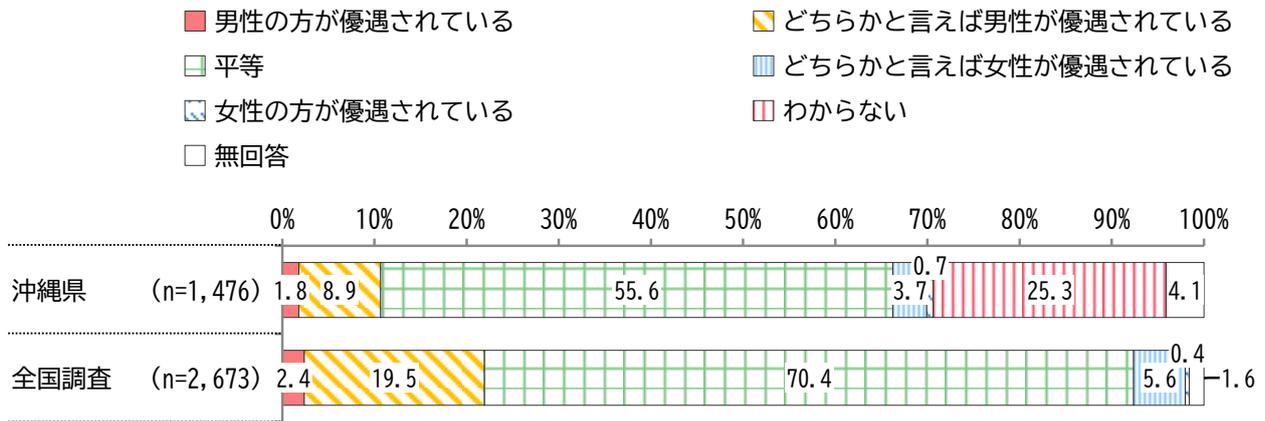
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	9.0	25.2	43.8	5.8	2.5	10.0	3.7
性別	女性	839	8.9	29.0	42.6	3.2	1.9	10.1	4.3
	男性	623	9.0	20.2	46.1	9.1	3.4	9.5	2.7
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	6.0	21.3	47.8	5.6	4.9	13.4	1.1
	女性・40代以上	571	10.3	32.6	40.1	2.1	0.5	8.6	5.8
	男性・10～30代	163	8.0	16.0	44.8	10.4	3.7	15.3	1.8
	男性・40代以上	460	9.3	21.7	46.5	8.7	3.3	7.4	3.0
居住地	那覇	312	10.6	24.4	41.0	7.7	1.9	10.6	3.8
	北部	130	9.2	22.3	47.7	4.6	2.3	10.8	3.1
	中部	643	9.6	25.5	41.8	6.2	2.6	9.8	4.4
	南部	280	5.4	26.8	47.5	3.9	2.9	10.7	2.9
	宮古	49	8.2	26.5	46.9	4.1	2.0	10.2	2.0
	八重山	62	11.3	24.2	51.6	3.2	3.2	4.8	1.6
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	7.8	21.9	50.8	8.2	3.1	7.2	0.9
	小学生以下の子なし	643	9.8	28.6	41.8	4.7	1.4	7.9	5.8
婚姻状況	既婚	911	9.1	25.6	45.8	5.6	1.6	8.2	4.1
	パートナーと暮らしている	34	11.8	26.5	29.4	14.7	11.8	5.9	-
	離別・死別	141	10.6	31.9	41.1	4.3	2.8	5.7	3.5
	未婚	383	8.1	21.7	41.8	5.7	3.7	15.9	3.1

③ 学校教育の場では

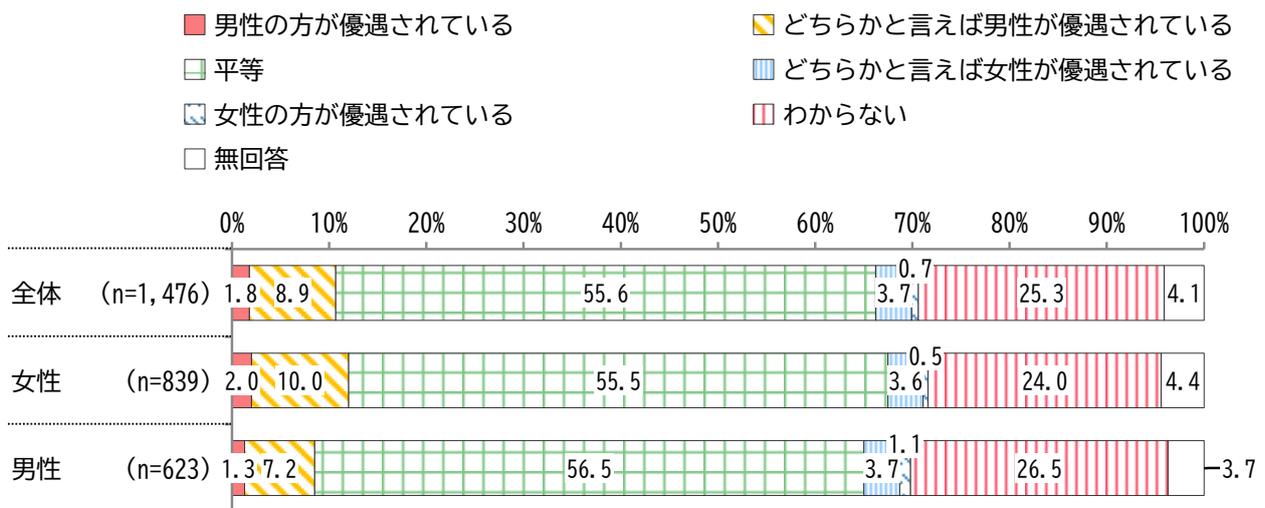
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 8.9%で全国 (19.5%) より 10.6 ポイント低く、「平等」は 55.6%で全国 (70.4%) より 14.8 ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は 1.8%で全国 (2.4%) より 0.6 ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 3.7%で全国 (5.6%) より 1.9 ポイント低い。



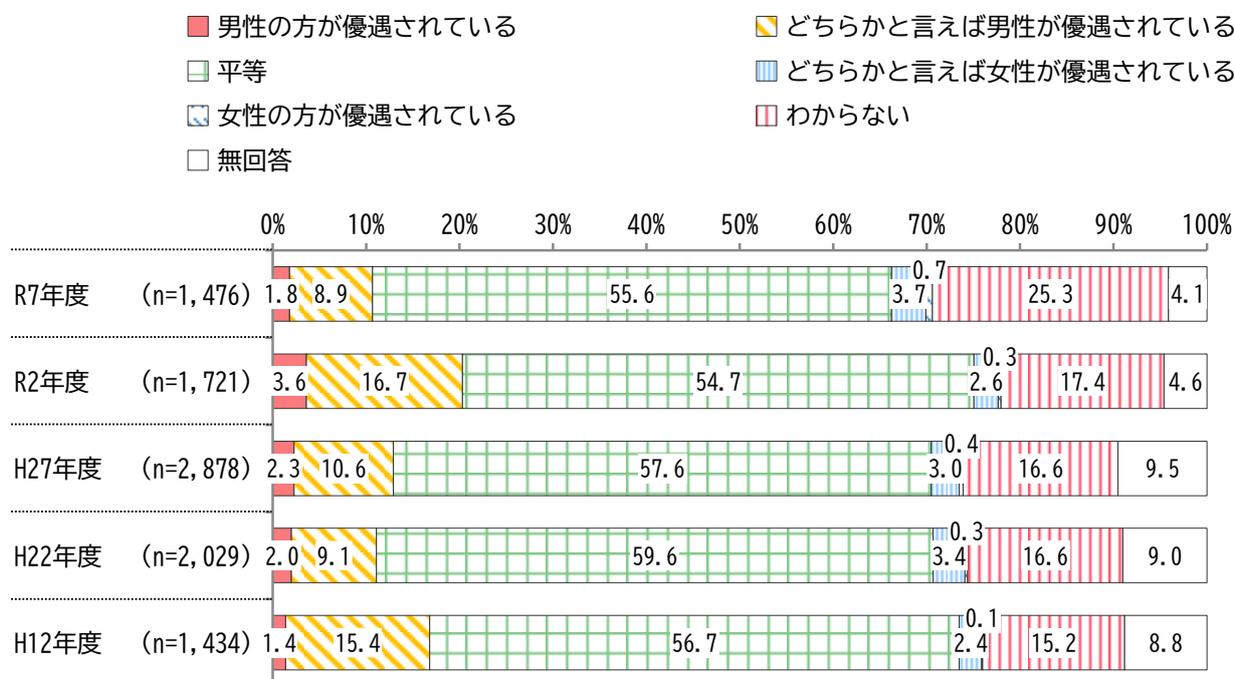
【性別比較】

- 性別でみると、「平等」は女性が 55.5%、男性は 56.5%となっており、対等性の認識が比較的一致しているといえる。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は女性 (10.0%) が男性 (7.2%) より 2.8 ポイント高く、「男性の方が優遇されている」も女性 (2.0%) が男性 (1.3%) より 0.7 ポイント高い。「女性の方が優遇されている」は男性 (1.1%) が女性 (0.5%) より 0.6 ポイント高い。



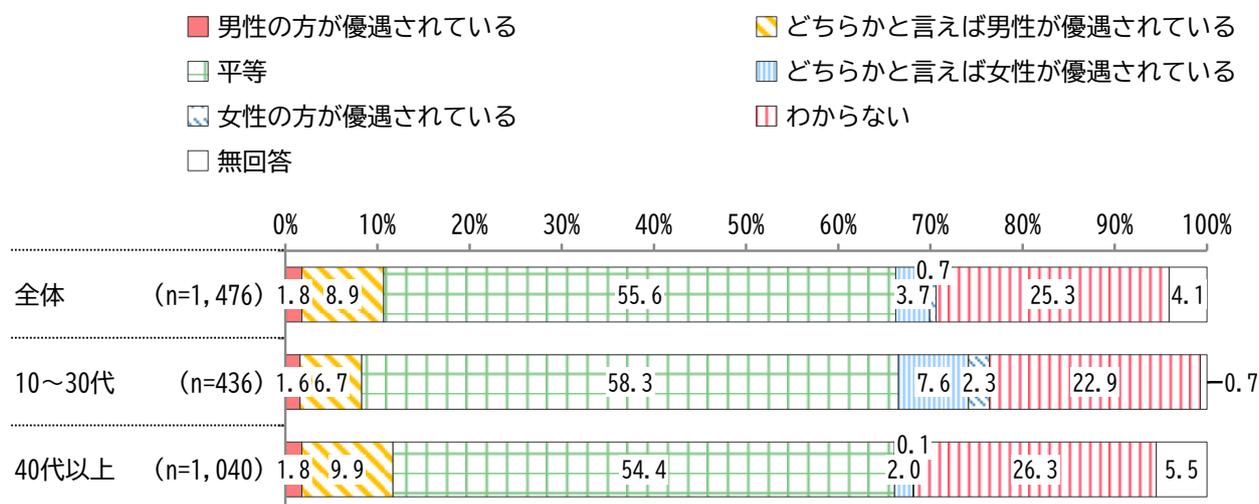
【経年比較】

- 経年で比較すると、R7年度は「平等」(55.6%) が最も高く、全期間を通じて高い水準が続いている。また、「男性の方が優遇されている」(1.8%) と「どちらかと言えば男性が優遇されている」(8.9%) の合計は 10.7%であり、R2年度の合計 20.3%と比べて 9.6 ポイント低くなっている。「わからない」は R7年度 (25.3%) が最も高く、H12年度 (15.2%) 以降上昇している。



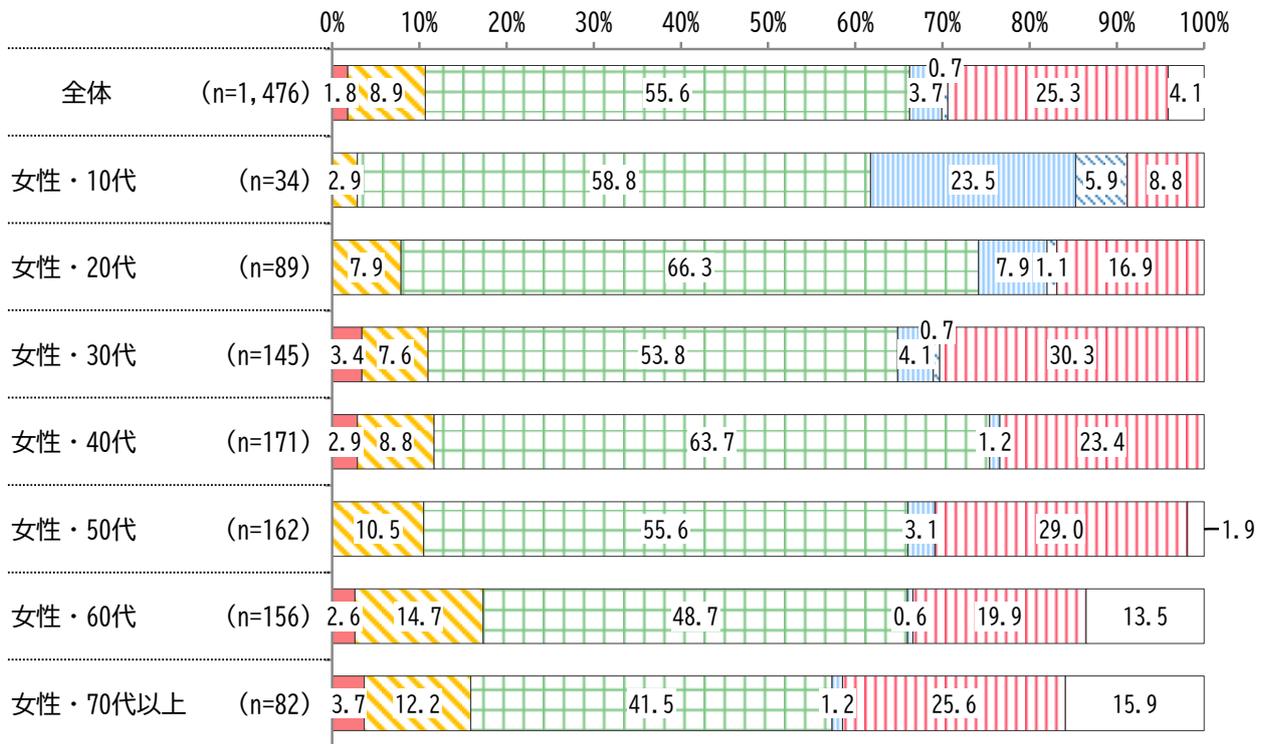
【年齢層別比較】

- 年齢層別で比較すると、10～30代は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 6.7%で 40代以上 (9.9%) より 3.2 ポイント低く、「平等」は 58.3%で 40代以上 (54.4%) より 3.9 ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は 10～30代が 1.6%で 40代以上 (1.8%) より 0.2 ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 7.6%で 40代以上 (2.0%) より 5.6 ポイント高い。



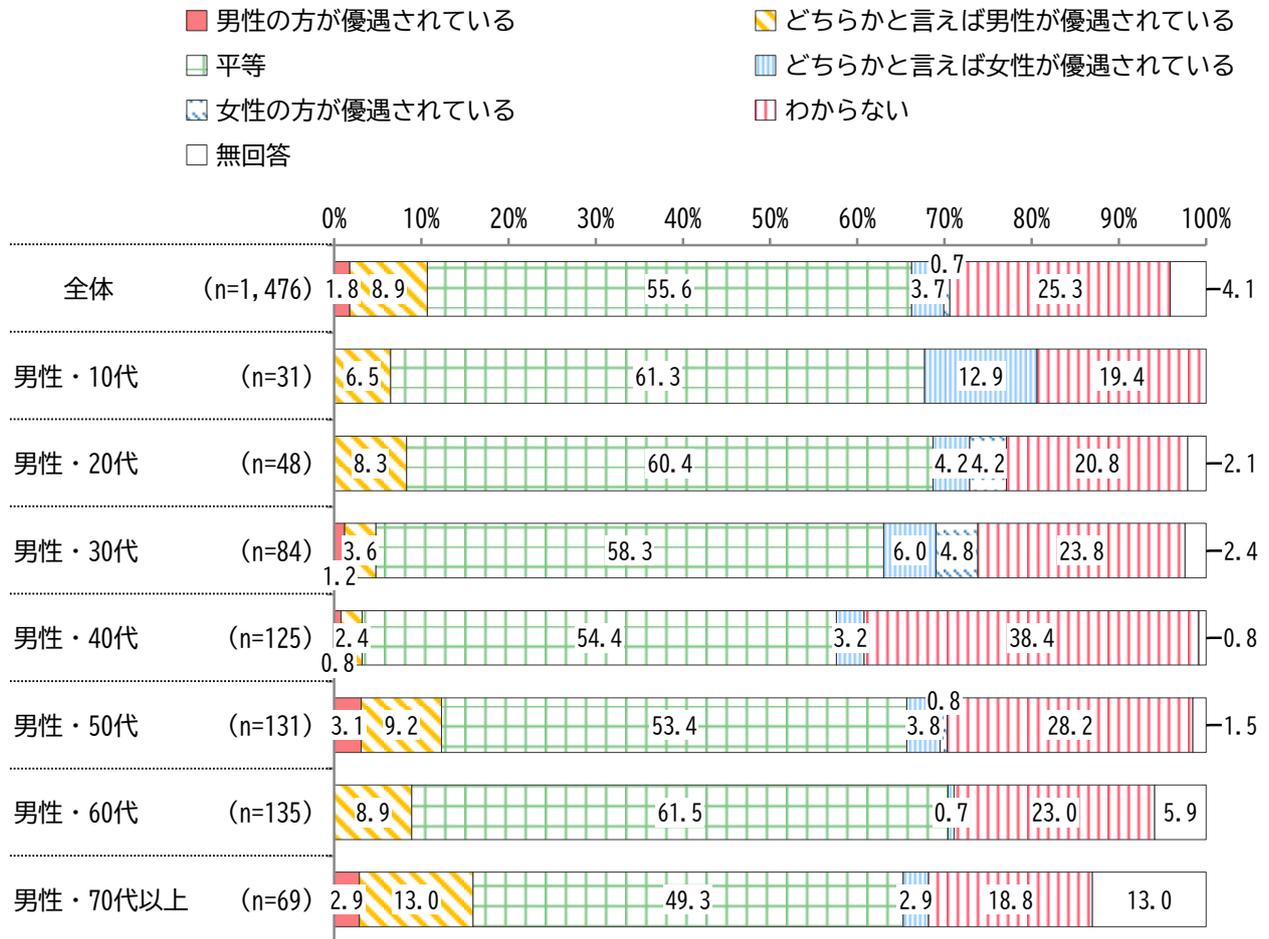
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「平等」は20代（66.3%）、40代（63.7%）、10代（58.8%）が高い一方、70代以上（41.5%）は低く、年代により認識の差が大きい。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は10代（23.5%）が突出して高く、他年代との差が大きい。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は60代（14.7%）と70代以上（12.2%）が高く、若年層との差がみられる。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「平等」は10代（61.3%）と60代（61.5%）が高い一方、70代以上（49.3%）は低くなっている。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は70代以上（13.0%）が最も高い。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は10代（12.9%）が最も高く、他年代との差が大きい。



【属性別比較】

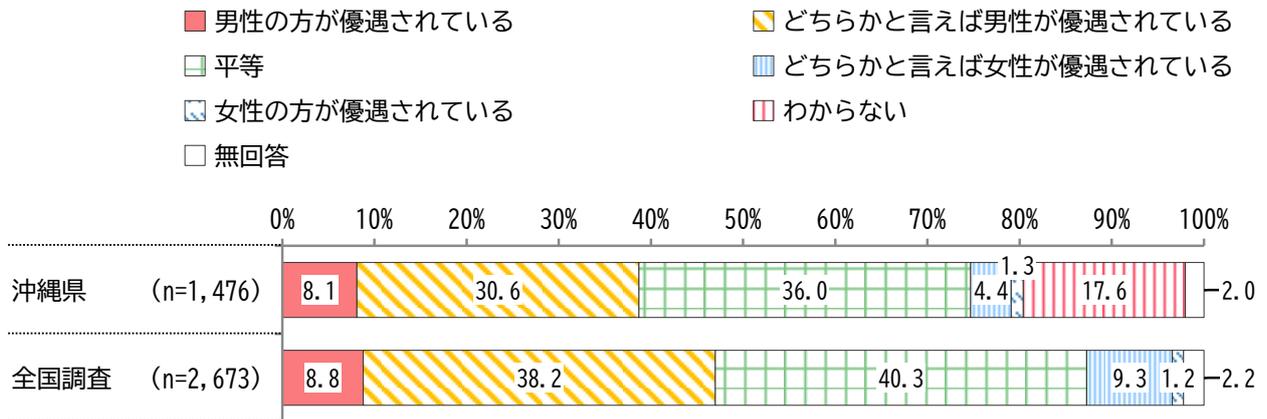
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	1.8	8.9	55.6	3.7	0.7	25.3	4.1
性別	女性	839	2.0	10.0	55.5	3.6	0.5	24.0	4.4
	男性	623	1.3	7.2	56.5	3.7	1.1	26.5	3.7
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	1.9	7.1	58.6	7.8	1.5	23.1	-
	女性・40代以上	571	2.1	11.4	54.1	1.6	-	24.3	6.5
	男性・10～30代	163	0.6	5.5	59.5	6.7	3.7	22.1	1.8
	男性・40代以上	460	1.5	7.8	55.4	2.6	0.2	28.0	4.3
居住地	那覇	312	2.9	10.3	53.8	3.8	0.6	25.3	3.2
	北部	130	3.1	4.6	57.7	3.1	0.8	25.4	5.4
	中部	643	1.4	7.9	56.8	3.7	1.1	24.9	4.2
	南部	280	1.1	10.0	54.3	3.9	0.4	26.8	3.6
	宮古	49	-	12.2	51.0	2.0	-	24.5	10.2
	八重山	62	1.6	14.5	56.5	3.2	-	22.6	1.6
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	2.2	6.3	69.3	2.2	1.3	18.8	-
	小学生以下の子なし	643	1.4	10.1	56.0	2.2	0.2	23.5	6.7
婚姻状況	既婚	911	1.5	8.8	58.9	2.1	0.4	24.0	4.2
	パートナーと暮らしている	34	-	8.8	41.2	5.9	-	41.2	2.9
	離別・死別	141	2.1	9.2	57.4	3.5	0.7	22.0	5.0
	未婚	383	2.3	9.4	48.6	7.3	1.3	27.4	3.7

④ 地域活動・社会活動の場では

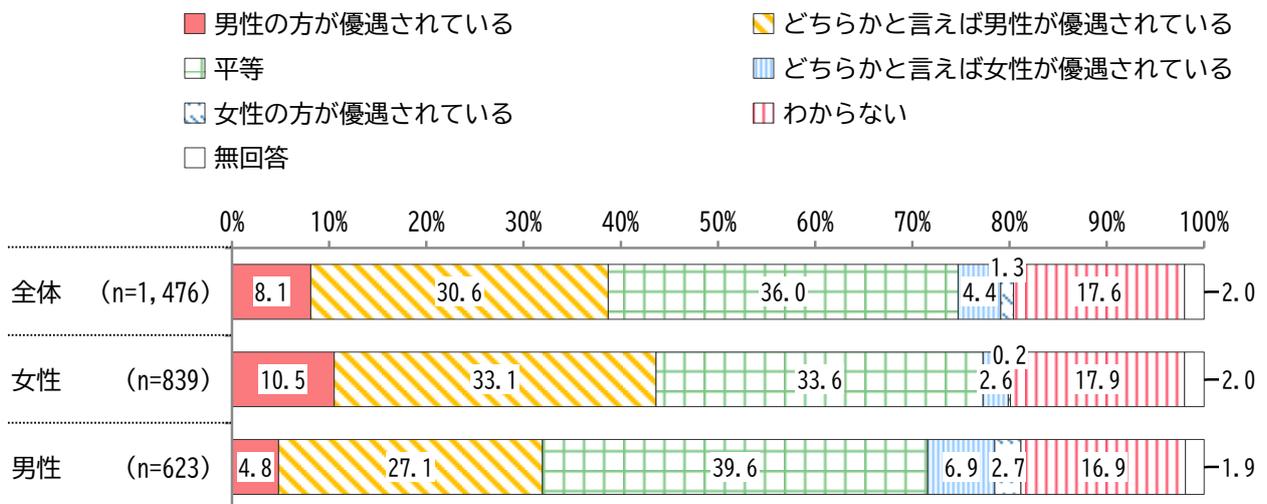
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 30.6%で全国（38.2%）より 7.6 ポイント低く、「平等」は 36.0%で全国（40.3%）より 4.3 ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は 8.1%で全国（8.8%）より 0.7 ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 4.4%で全国（9.3%）より 4.9 ポイント低い。



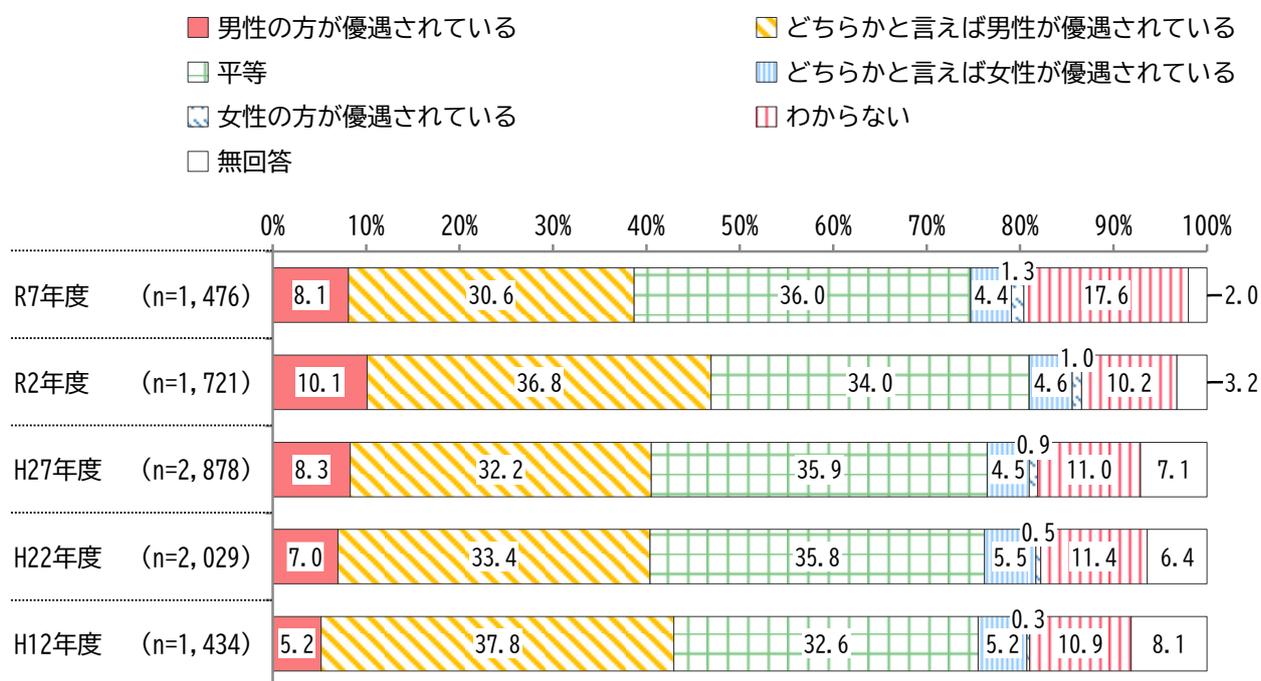
【性別比較】

- 性別でみると、「平等」は男性（39.6%）が女性（33.6%）より 6.0 ポイント高く、男性の方が対等と感じている。「どちらかと言えば男性が優遇されている」は女性（33.1%）が男性（27.1%）より 6.0 ポイント高く、女性側で男性優遇の認識が強い。「男性の方が優遇されている」も女性（10.5%）が男性（4.8%）より 5.7 ポイント高い。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は男性（6.9%）が女性（2.6%）より 4.3 ポイント高く、男性側に女性優遇と感じる層も一定数存在する。



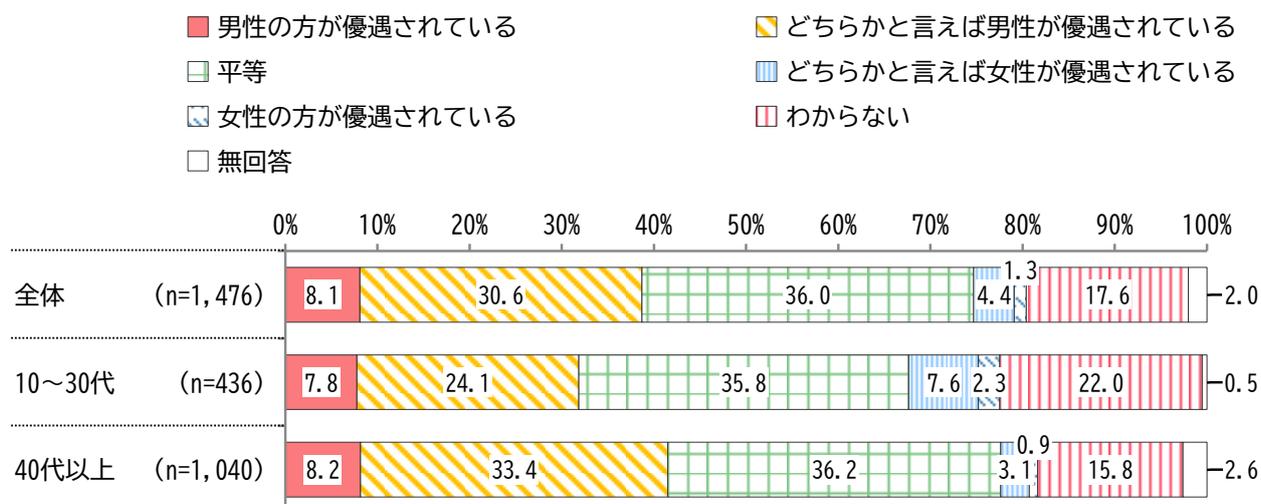
【経年比較】

- 経年で比較すると、「平等」はR7年度が36.0%で最も高い水準にあり、H12年度（32.6%）と比較しても上昇している。また「わからない」は17.6%で過年度調査と比較して、不確定層が拡大している。



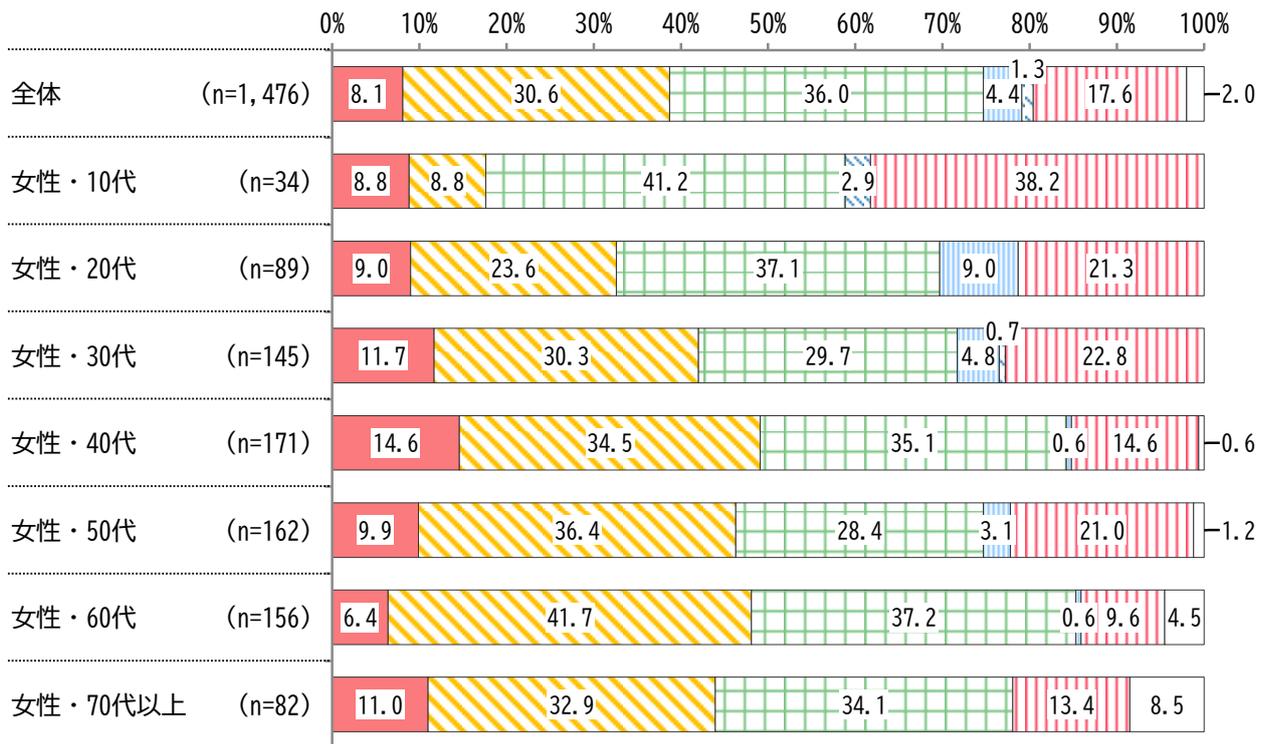
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、10～30代は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が24.1%で40代以上（33.4%）より9.3ポイント低く、「平等」は35.8%で40代以上（36.2%）より0.4ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は7.8%で40代以上（8.2%）より0.4ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は7.6%で40代以上（3.1%）より4.5ポイント高い。



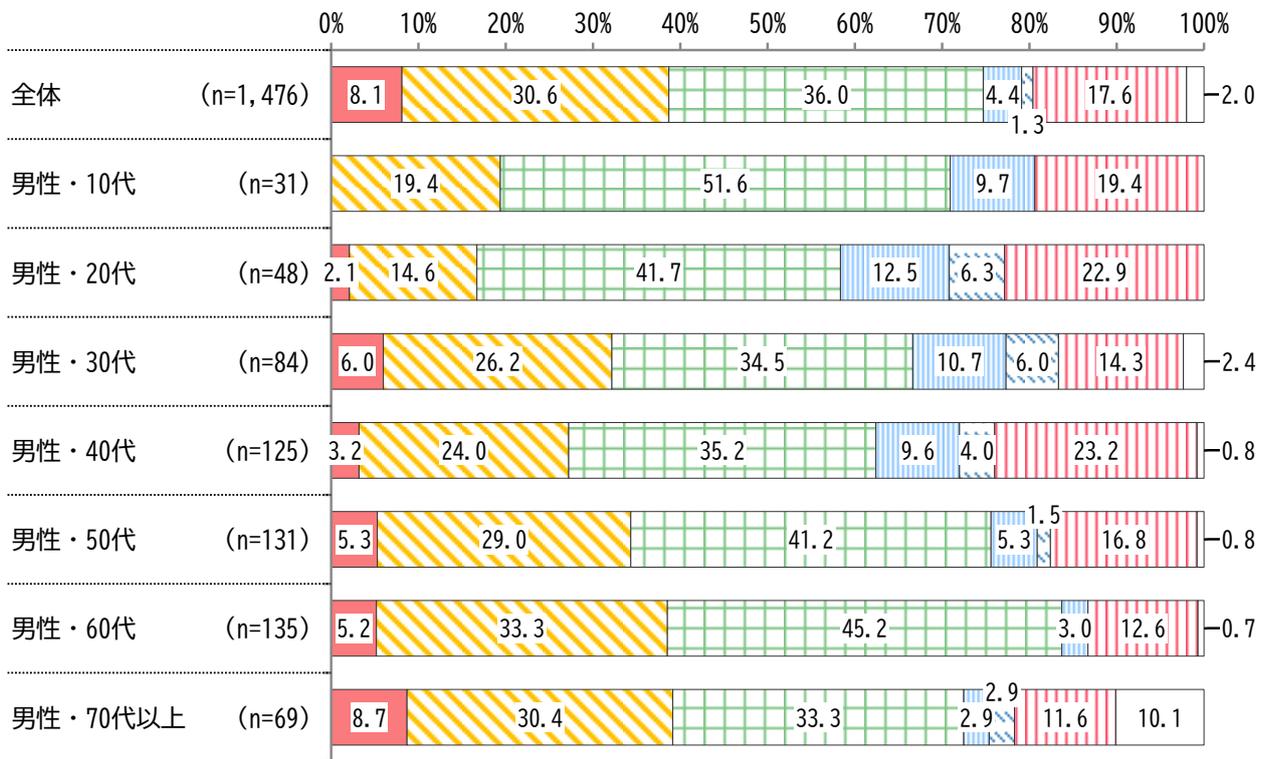
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は60代(41.7%)、50代(36.4%)が高く、中高年層で男性優遇の認識が強い。「男性の方が優遇されている」は40代(14.6%)が最も高い。「わからない」は10代(38.2%)が突出して高く、判断が難しい層が多いことが特徴である。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は 60 代（33.3%）が最も高く、最も低い 20 代（14.6%）より 18.7 ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は 70 代以上（8.7%）が最も高く、「平等」は 10 代（51.6%）と 60 代（45.2%）が高い。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 20 代（12.5%）が最も高く、70 代以上（2.9%）より 9.6 ポイント高い。



【属性別比較】

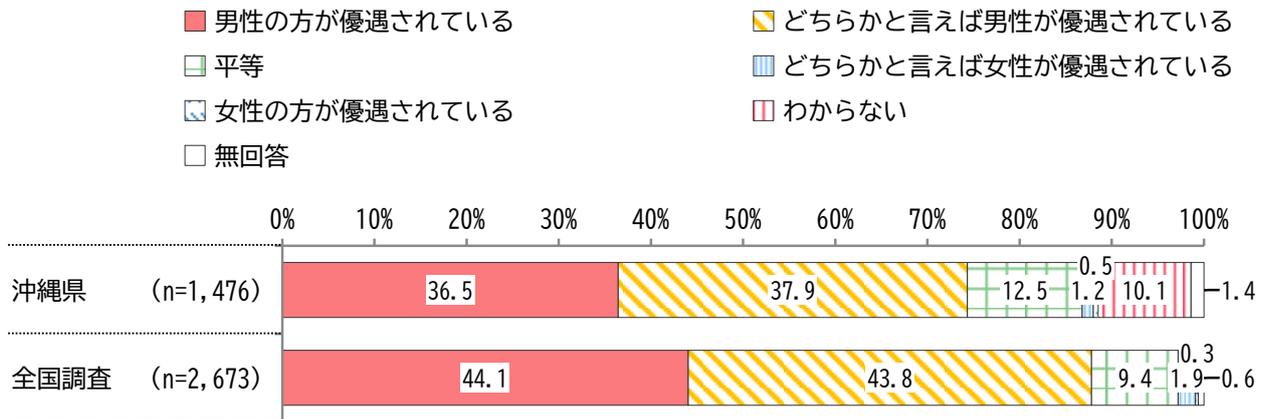
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	8.1	30.6	36.0	4.4	1.3	17.6	2.0
性別	女性	839	10.5	33.1	33.6	2.6	0.2	17.9	2.0
	男性	623	4.8	27.1	39.6	6.9	2.7	16.9	1.9
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	10.4	25.4	33.6	5.6	0.7	24.3	-
	女性・40代以上	571	10.5	36.8	33.6	1.2	-	14.9	3.0
	男性・10～30代	163	3.7	21.5	39.9	11.0	4.9	17.8	1.2
	男性・40代以上	460	5.2	29.1	39.6	5.4	2.0	16.5	2.2
居住地	那覇	312	9.3	31.4	35.6	3.5	2.2	16.7	1.3
	北部	130	6.9	31.5	36.2	4.6	0.8	17.7	2.3
	中部	643	7.3	27.5	38.1	5.0	1.1	19.1	1.9
	南部	280	7.1	35.4	33.2	4.3	1.4	16.1	2.5
	宮古	49	10.2	34.7	34.7	4.1	-	12.2	4.1
	八重山	62	14.5	32.3	30.6	3.2	-	17.7	1.6
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	10.7	32.0	35.7	4.7	1.3	15.4	0.3
	小学生以下の子なし	643	6.2	35.5	37.6	3.1	0.6	13.5	3.4
婚姻状況	既婚	911	8.3	34.4	35.1	3.8	1.0	15.1	2.2
	パートナーと暮らしている	34	5.9	26.5	26.5	14.7	-	26.5	-
	離別・死別	141	7.1	31.2	43.3	2.1	0.7	12.8	2.8
	未婚	383	8.1	21.9	36.3	5.5	2.3	24.5	1.3

⑤ 政治の場では

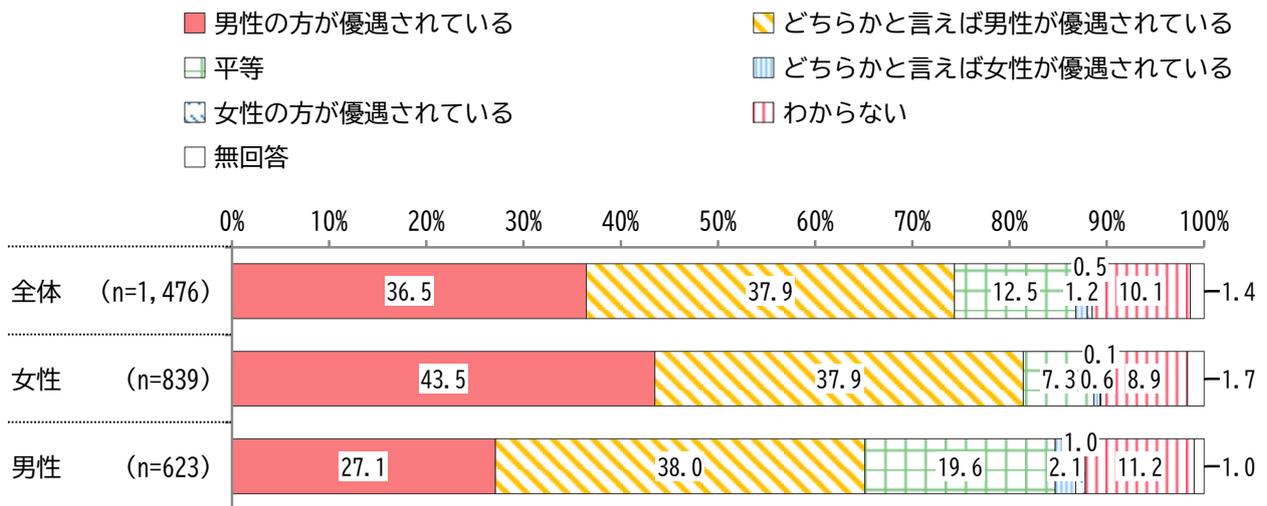
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 37.9%で全国（43.8%）より 5.9 ポイント低く、「平等」は 12.5%で全国（9.4%）より 3.1 ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は 36.5%で全国（44.1%）より 7.6 ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 1.2%で全国（1.9%）より 0.7 ポイント低い。



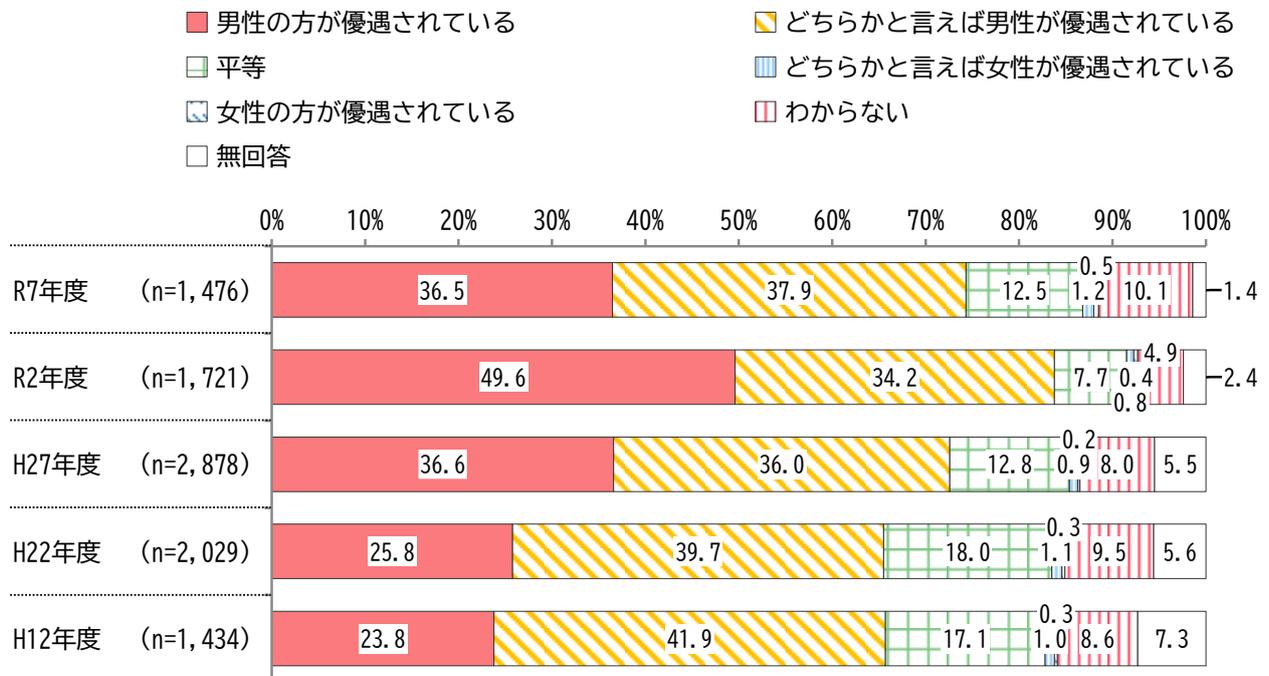
【性別比較】

- 性別でみると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は、女性が 81.4%、男性は 65.1%で、16.3 ポイント差はあるものの男女どちらも男性優遇の認識となっている。「平等」は男性（19.6%）が女性（7.3%）より 12.3 ポイント高い。



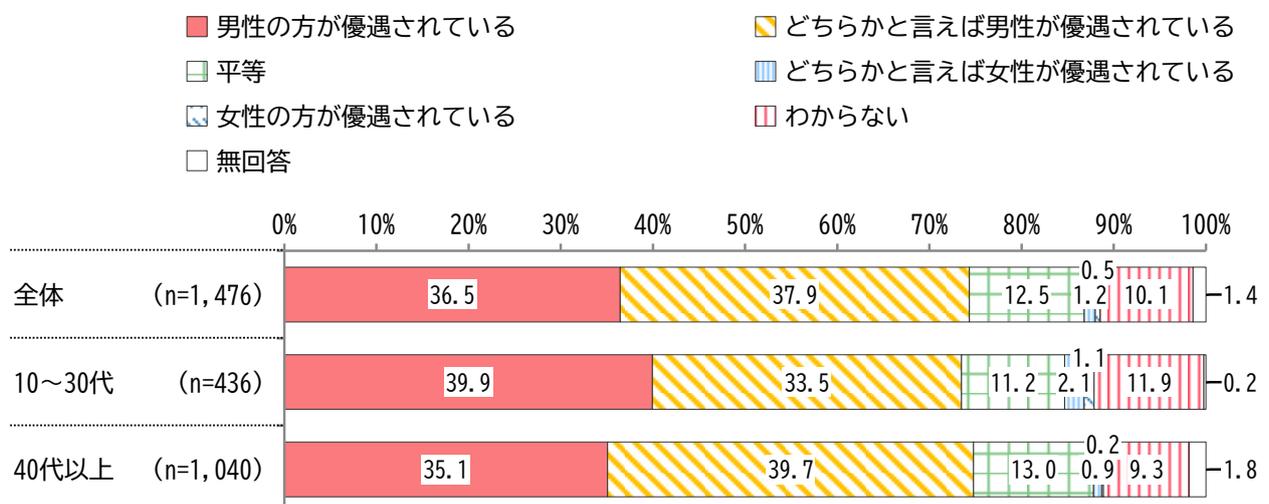
【経年比較】

- 経年で比較すると、R7年度は「男性の方が優遇されている」(36.5%)と「どちらかと言えば男性が優遇されている」(37.9%)の合計が74.4%で、R2年度(83.8%)より9.4ポイント低くなっているが、全ての年度を通じて男性優遇の認識が最も高い割合を占めている。「平等」はR7年度が12.5%でH27年度(12.8%)と近い水準となっている。「わからない」はR7年度が10.1%で最も高い。



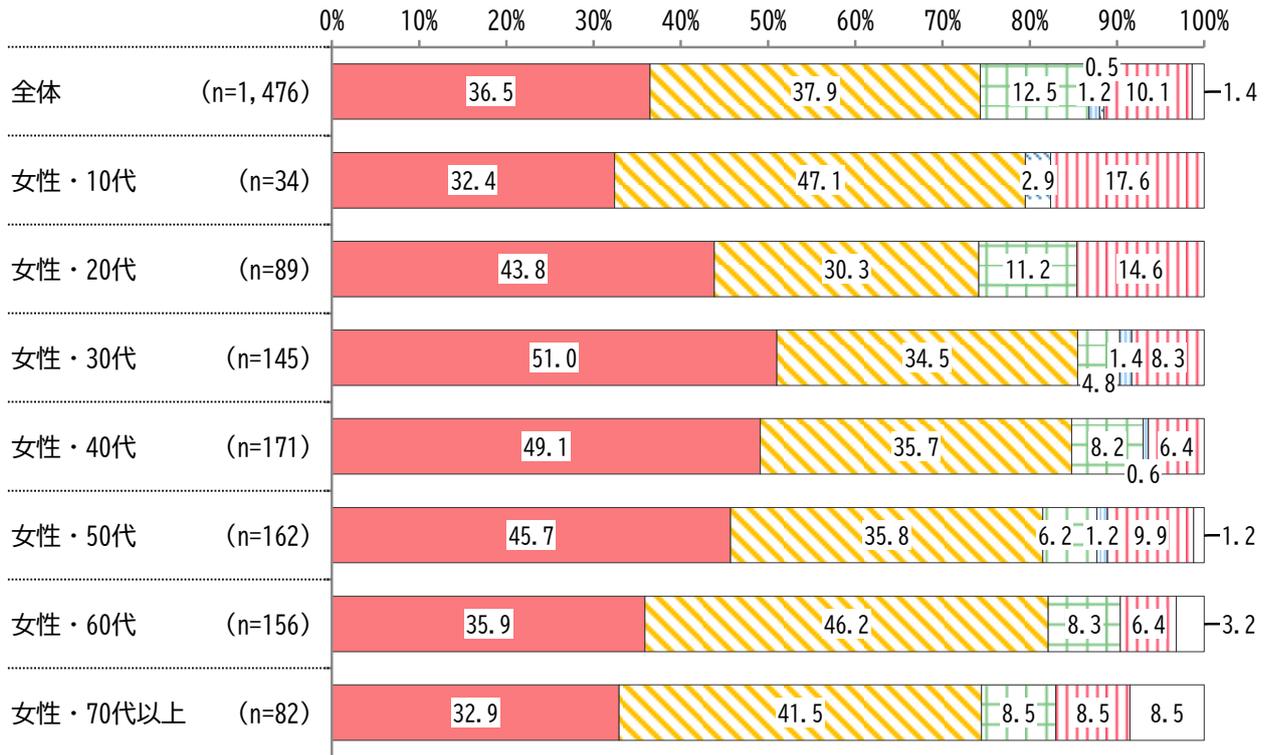
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、10~30代は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が33.5%で40代以上(39.7%)より6.2ポイント、「平等」は11.2%で40代以上(13.0%)より1.8ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は39.9%で40代以上(35.1%)より4.8ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は2.1%で40代以上(0.9%)より1.2ポイント高い。



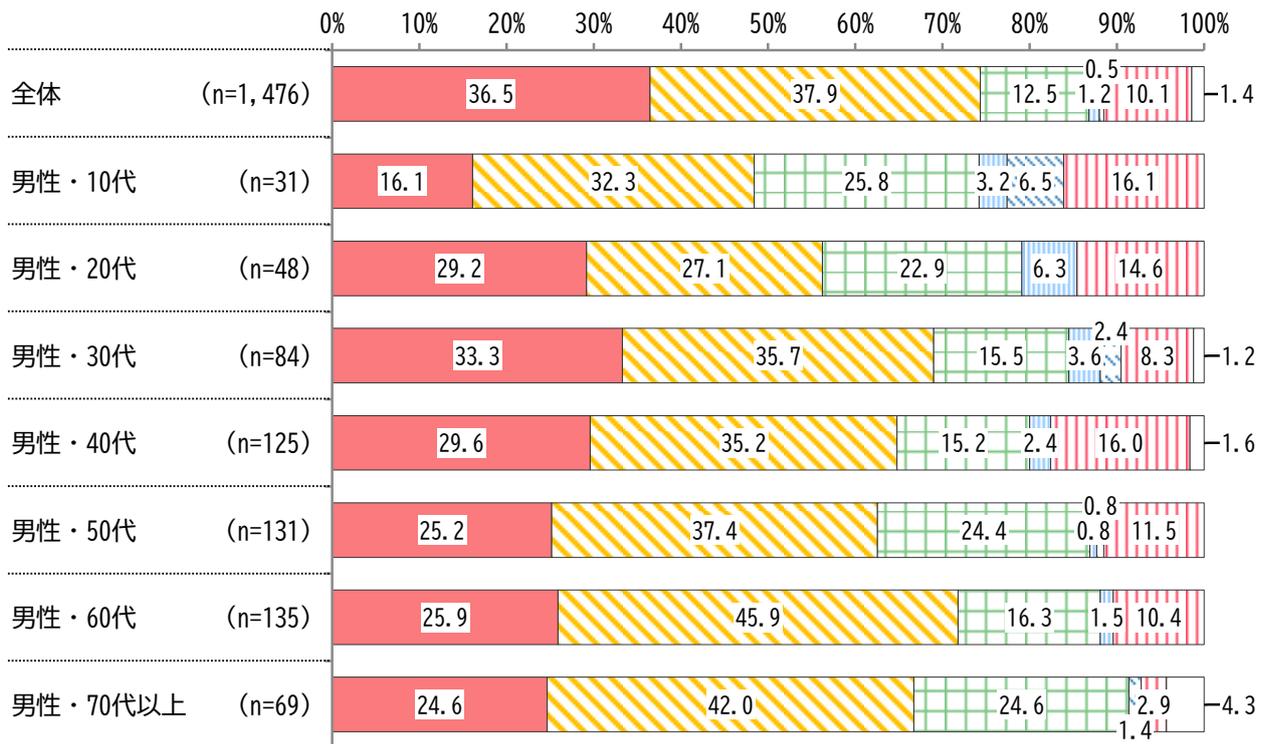
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は30代（85.5%）が最も高く、最も低い20代（74.1%）と11.4ポイントの差がある。「平等」は20代（11.2%）が最も高い。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は、30代（69.0%）、40代（64.8%）、60代（71.8%）など多くの年代で6～7割を占め、男性優遇の認識が年代を問わず強い。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は20代（6.3%）と30代（3.6%）でみられるが数値は小さい。



【属性別比較】

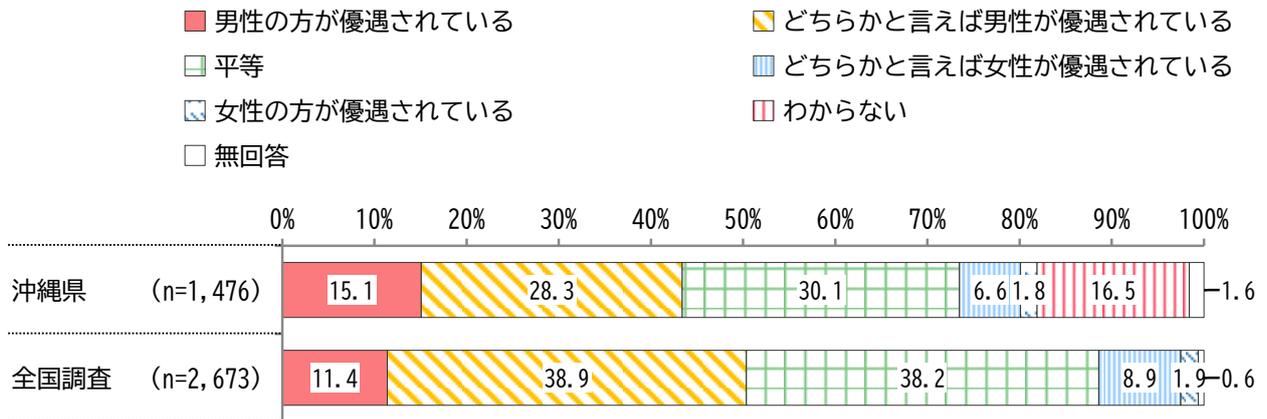
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	36.5	37.9	12.5	1.2	0.5	10.1	1.4
性別	女性	839	43.5	37.9	7.3	0.6	0.1	8.9	1.7
	男性	623	27.1	38.0	19.6	2.1	1.0	11.2	1.0
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	46.3	34.7	6.3	0.7	0.4	11.6	-
	女性・40代以上	571	42.2	39.4	7.7	0.5	-	7.7	2.5
	男性・10～30代	163	28.8	32.5	19.6	4.3	2.5	11.7	0.6
	男性・40代以上	460	26.5	40.0	19.6	1.3	0.4	11.1	1.1
居住地	那覇	312	35.9	43.6	11.2	1.0	0.6	6.1	1.6
	北部	130	30.8	39.2	14.6	2.3	-	11.5	1.5
	中部	643	37.3	37.0	12.4	1.4	0.5	10.1	1.2
	南部	280	38.6	31.8	12.5	1.1	0.7	13.9	1.4
	宮古	49	22.4	51.0	12.2	-	-	12.2	2.0
	八重山	62	45.2	32.3	14.5	-	-	8.1	-
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	46.7	32.6	13.5	1.3	-	5.6	0.3
	小学生以下の子なし	643	30.8	42.8	13.2	0.9	0.2	9.6	2.5
婚姻状況	既婚	911	36.7	39.2	12.8	1.0	0.1	8.8	1.4
	パートナーと暮らしている	34	52.9	26.5	5.9	-	-	14.7	-
	離別・死別	141	34.8	38.3	14.9	1.4	-	7.8	2.8
	未婚	383	35.5	35.8	11.2	1.8	1.6	13.3	0.8

⑥ 法律や制度の上では

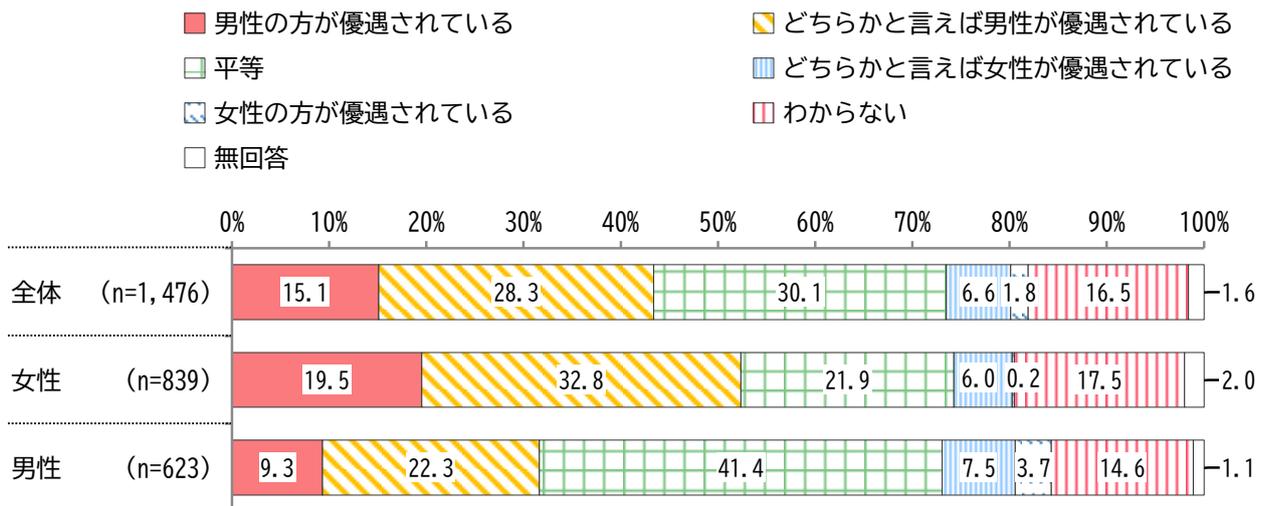
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、沖縄県は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が 28.3%で全国 (38.9%) より 10.6 ポイント低く、「平等」は 30.1%で全国 (38.2%) より 8.1 ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は 15.1%で全国 (11.4%) より 3.7 ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 6.6%で全国 (8.9%) より 2.3 ポイント低い。



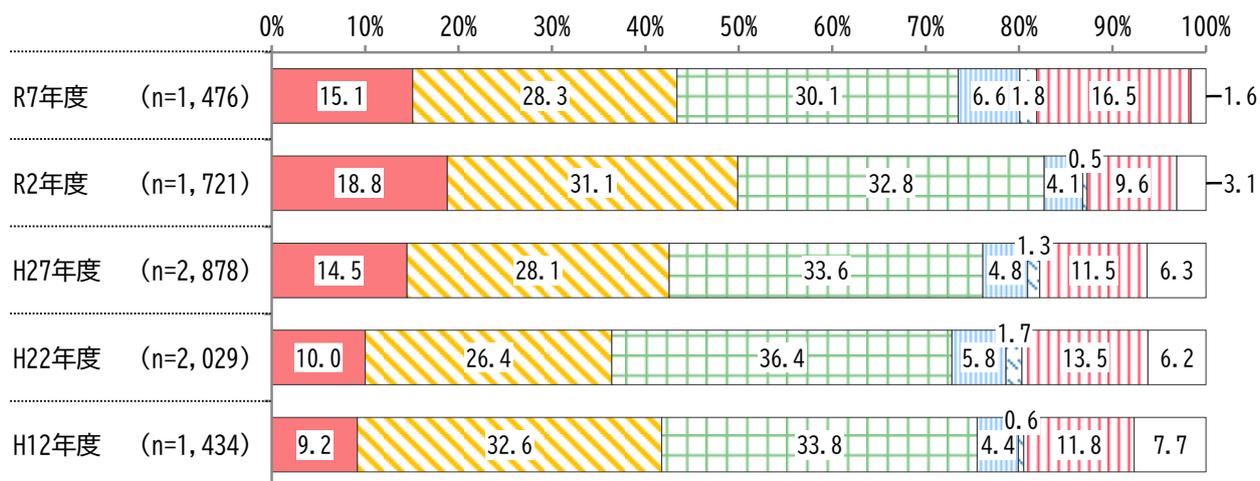
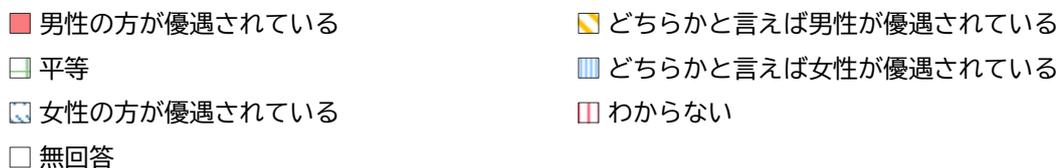
【性別比較】

- 性別でみると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は女性 (52.3%) が男性 (31.6%) より 20.7 ポイント高く、女性の方が制度面での男性優遇を強く感じている。「平等」は男性 (41.4%) が女性 (21.9%) より 19.5 ポイント高く、男女で認識の差が大きい。



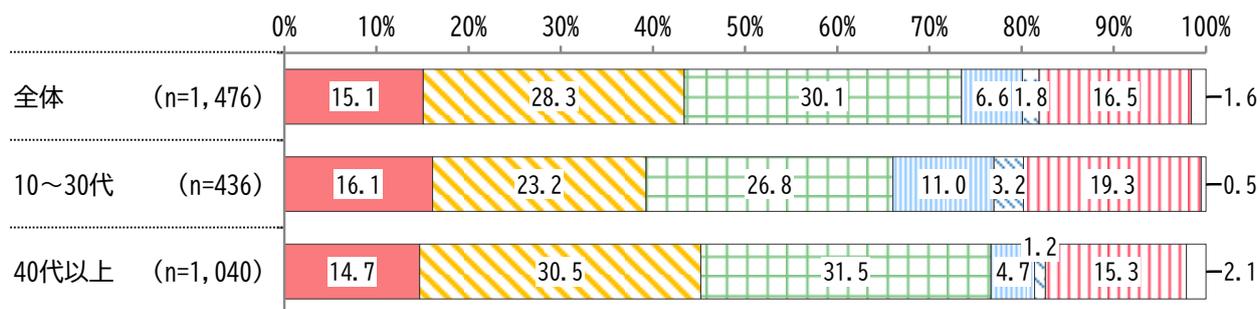
【経年比較】

- 経年で比較すると、全ての年度で「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」が最も高い割合を占め、男性優遇の認識が継続している。「平等」はH12年度(33.8%)からR7年度(30.1%)まで30%台で推移しており、大きな変動はみられない。「わからない」はH12年度(11.8%)からR7年度(16.5%)へと増加しており、直近で割合が高まっている。



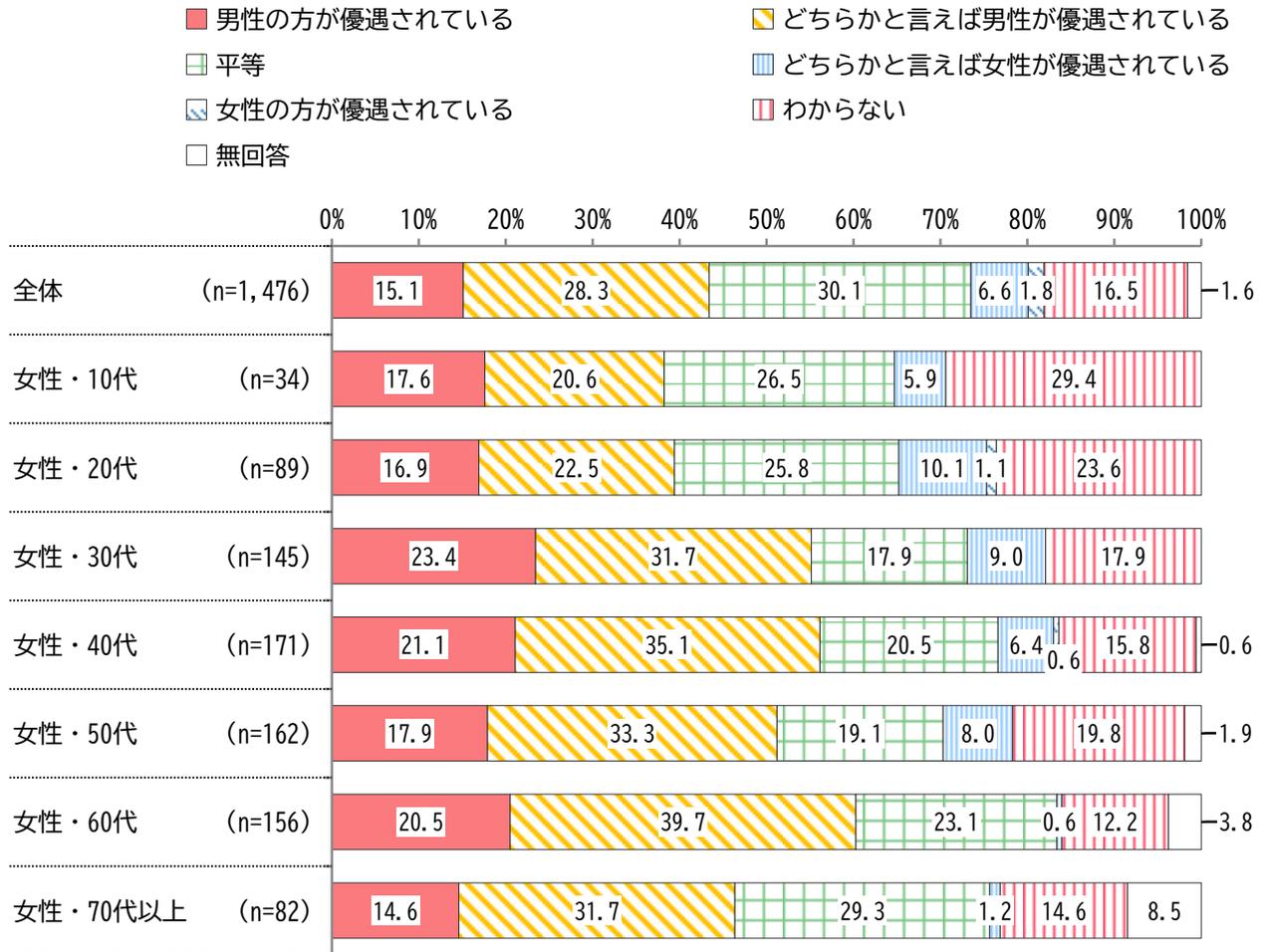
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、10～30代は「どちらかと言えば男性が優遇されている」が23.2%で40代以上(30.5%)より7.3ポイント低く、「平等」は26.8%で40代以上(31.5%)より4.7ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は16.1%で40代以上(14.7%)より1.4ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は11.0%で40代以上(4.7%)より6.3ポイント高い。



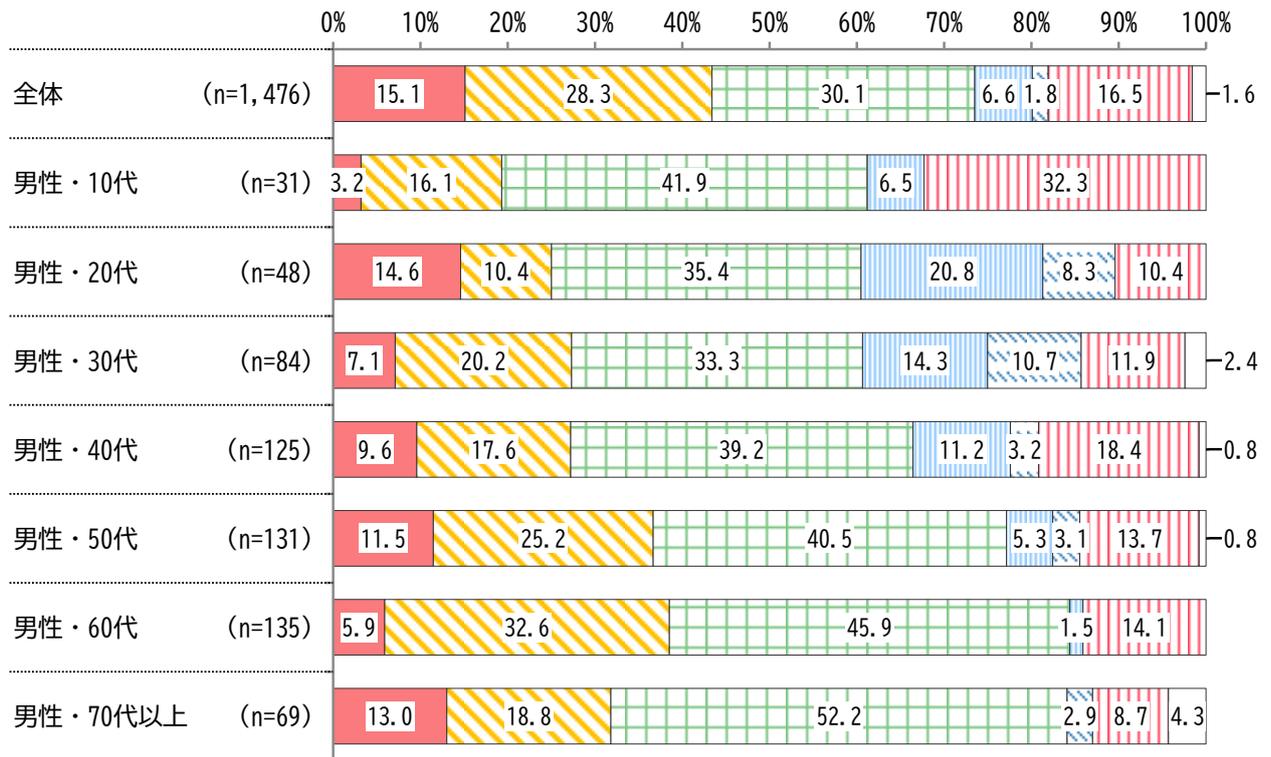
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は60代（60.2%）が最も高く、最も低い10代（38.2%）と22.0ポイントの差がある。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は一定割合がみられるが数値は小さい。「わからない」は10代（29.4%）と20代（23.6%）が高く、若年層ほど制度理解にばらつきがある傾向が読み取れる。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は60代（38.5%）が最も高く、最も低い10代（19.3%）と19.2ポイントの差がある。平等は70代以上（52.2%）と60代（45.9%）で高く、中高年層ほど制度を公平とみる傾向がある。



【属性別比較】

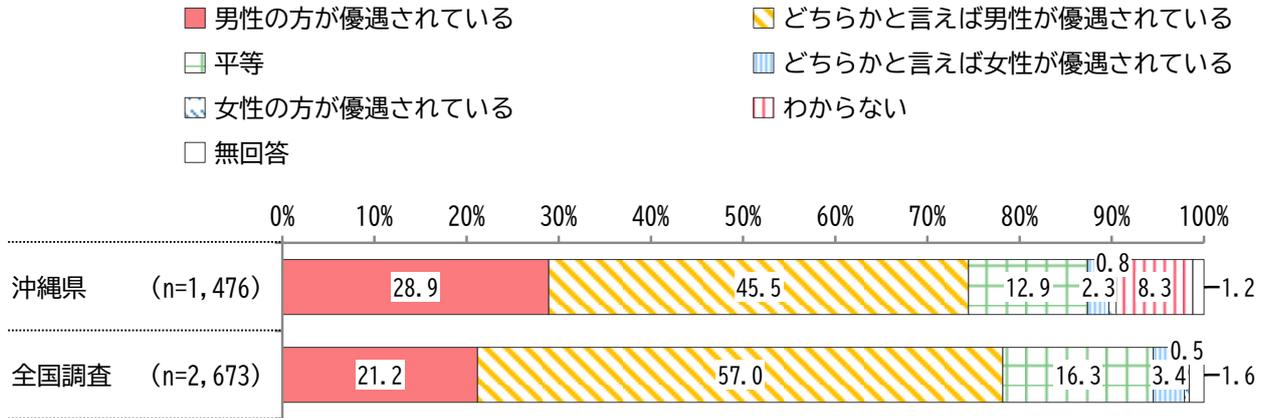
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	15.1	28.3	30.1	6.6	1.8	16.5	1.6
性別	女性	839	19.5	32.8	21.9	6.0	0.2	17.5	2.0
	男性	623	9.3	22.3	41.4	7.5	3.7	14.6	1.1
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	20.5	27.2	21.6	9.0	0.4	21.3	-
	女性・40代以上	571	19.1	35.4	22.1	4.6	0.2	15.8	3.0
	男性・10～30代	163	8.6	16.6	35.6	14.7	8.0	15.3	1.2
	男性・40代以上	460	9.6	24.3	43.5	5.0	2.2	14.3	1.1
居住地	那覇	312	15.4	28.5	33.7	6.1	2.9	11.9	1.6
	北部	130	13.1	27.7	31.5	6.9	1.5	17.7	1.5
	中部	643	17.0	26.7	28.5	7.3	1.6	17.6	1.4
	南部	280	11.8	31.8	29.6	5.7	1.4	17.9	1.8
	宮古	49	6.1	30.6	22.4	10.2	-	26.5	4.1
	八重山	62	21.0	27.4	35.5	1.6	1.6	11.3	1.6
小学生以下の子ども有無	小学生以下の子あり	319	15.7	31.7	27.9	8.2	1.6	14.7	0.3
	小学生以下の子なし	643	13.8	31.3	33.3	3.6	0.9	14.6	2.5
婚姻状況	既婚	911	14.8	31.2	30.4	5.2	1.2	15.7	1.5
	パートナーと暮らしている	34	17.6	20.6	32.4	5.9	2.9	20.6	-
	離別・死別	141	11.3	29.8	35.5	5.7	1.4	12.8	3.5
	未婚	383	17.0	21.9	27.2	10.2	3.1	19.3	1.3

⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどでは

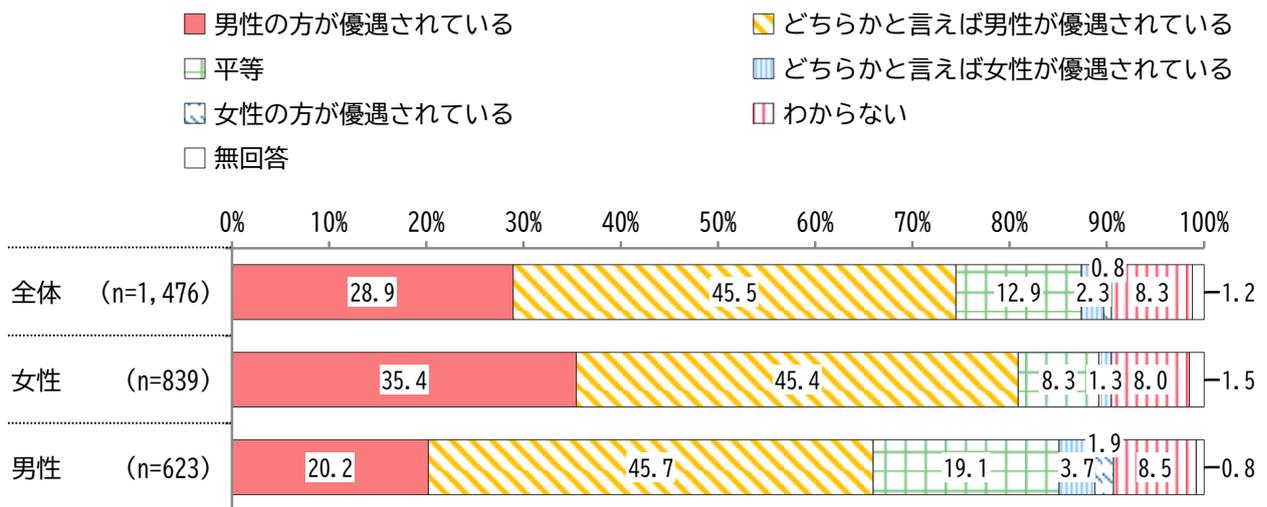
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は45.5%で全国（57.0%）より11.5ポイント低く、「平等」は12.9%で全国（16.3%）より3.4ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は28.9%で全国（21.2%）より7.7ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は2.3%で全国（3.4%）より1.1ポイント低い。



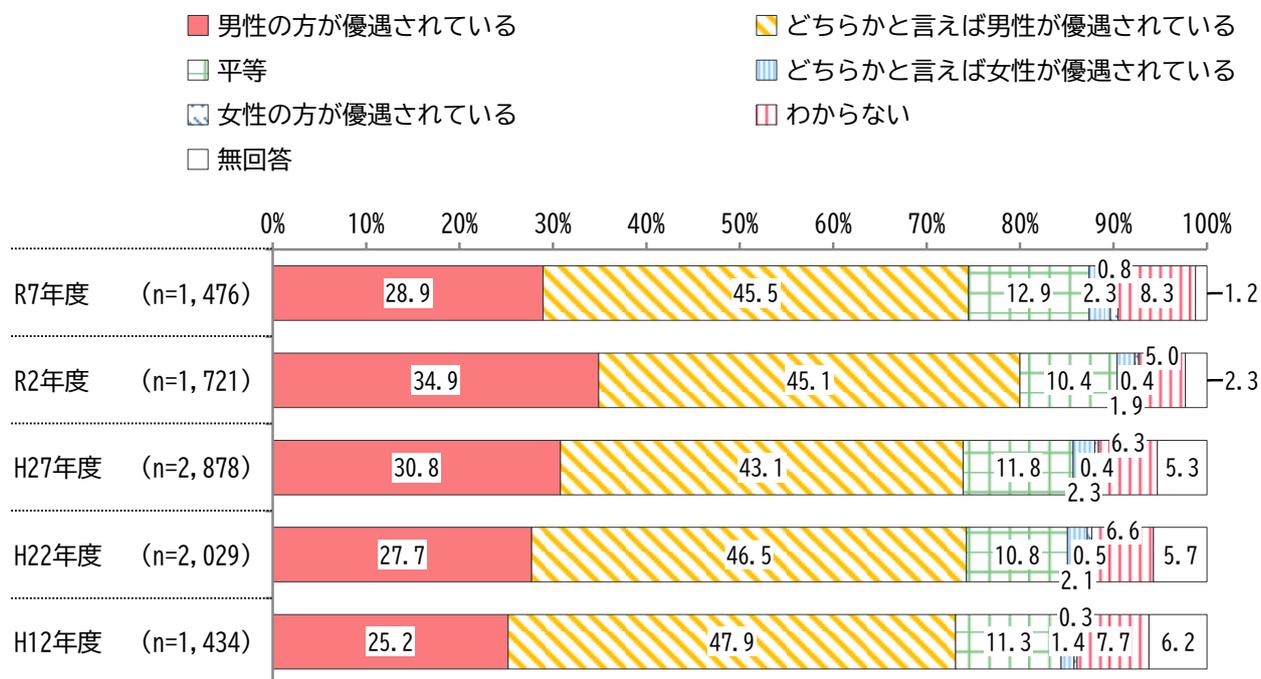
【性別比較】

- 性別でみると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は女性（80.8%）が男性（65.9%）より14.9ポイント高く、社会通念や慣習・しきたり面で男性が優遇されていると感じる割合が女性で特に高い。「平等」は男性（19.1%）が女性（8.3%）より高く、男女で認識の開きがみられる。



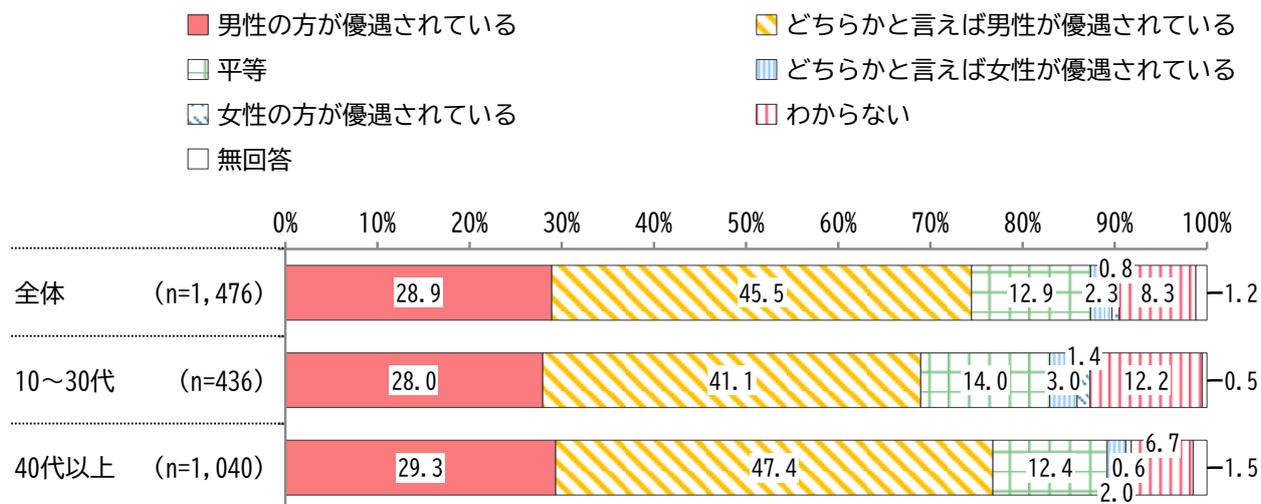
【経年比較】

- 経年で比較すると、R7年度は「男性の方が優遇されている」(28.9%)と「どちらかと言えば男性が優遇されている」(45.5%)がR2年度(34.9%、45.1%)より低いものの、依然として高い割合を占めており、男性優遇の認識が継続している。



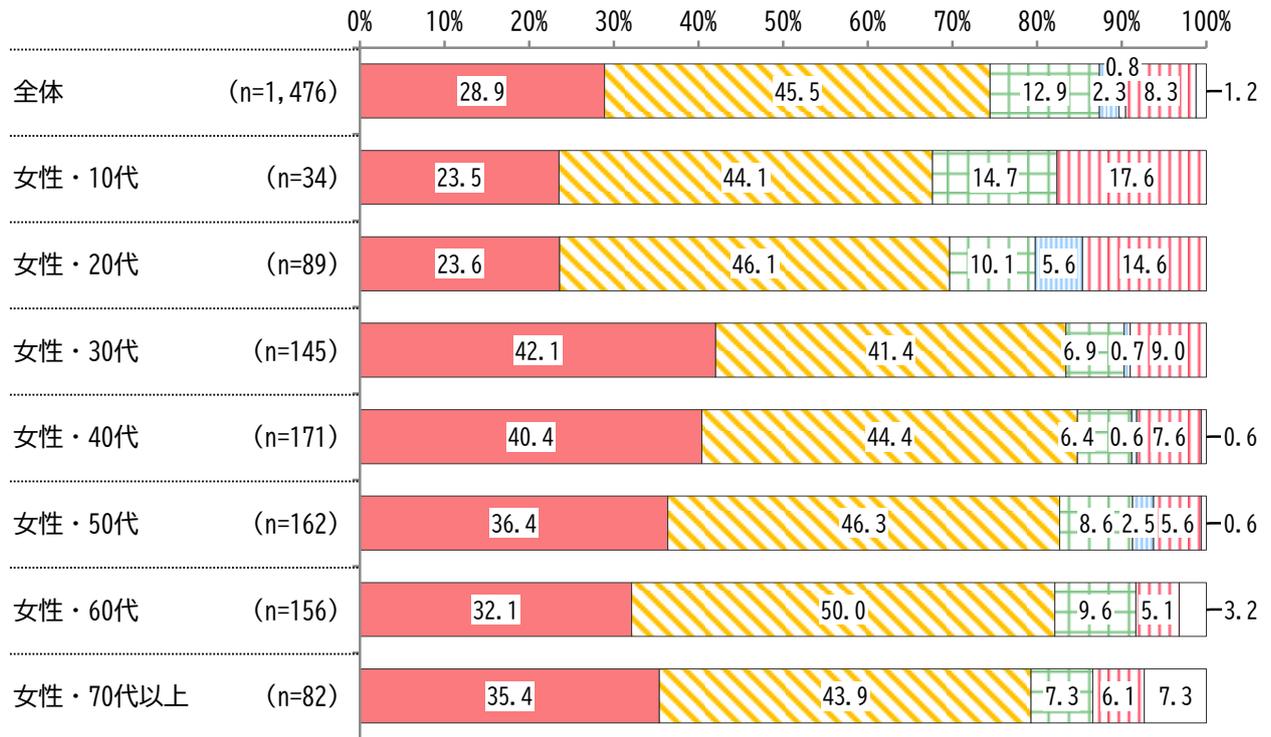
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は10~30代が41.1%で40代以上(47.4%)より6.3ポイント低く、「平等」は14.0%で40代以上(12.4%)より1.6ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は28.0%で40代以上(29.3%)より1.3ポイント低く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は3.0%で40代以上(2.0%)より1.0ポイント高い。



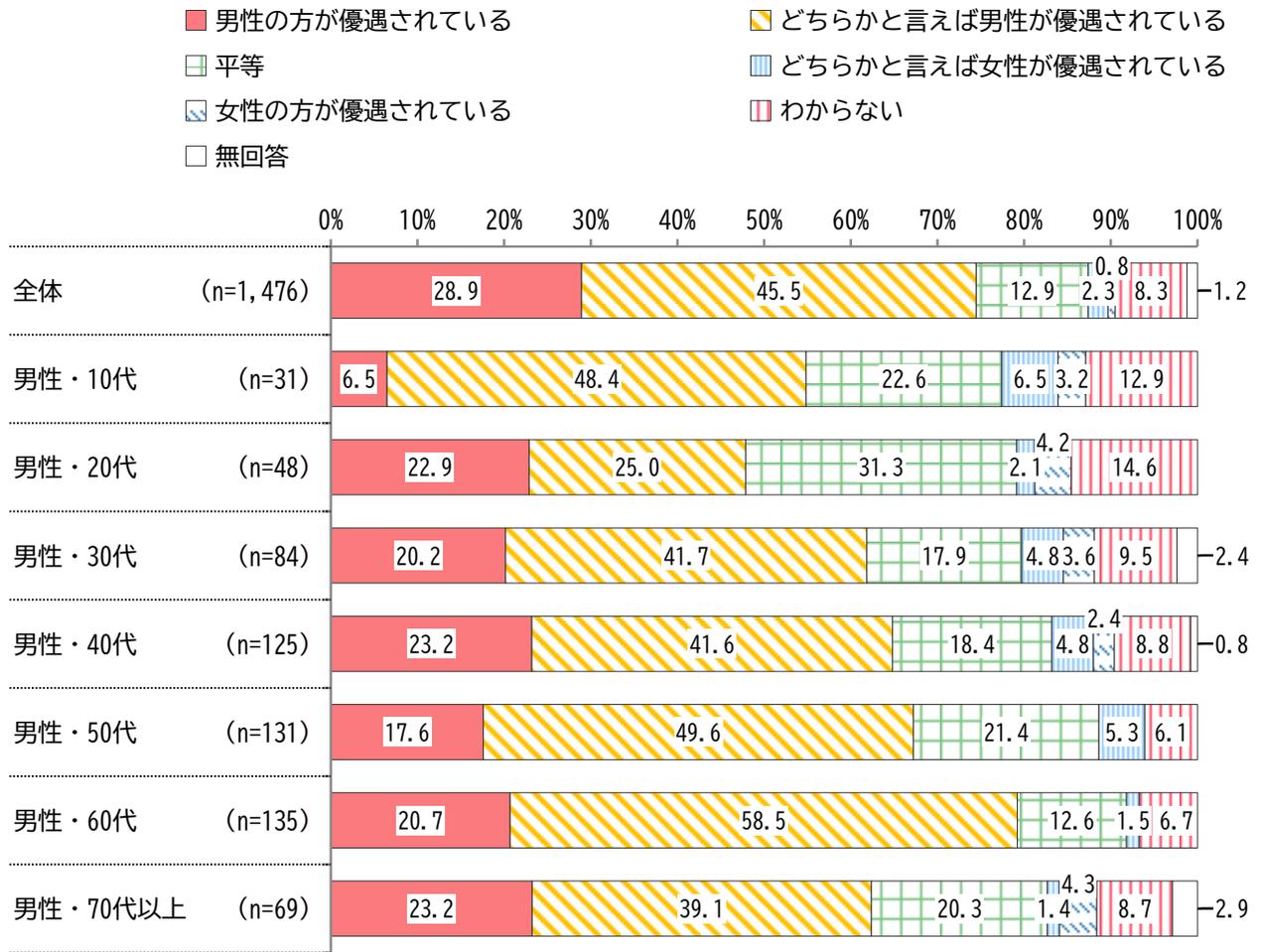
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は30代（83.5%）と40代（84.8%）が特に高く、最も低い10代（67.6%）と比べると差がある。「平等」は10代（14.7%）と20代（10.1%）が比較的高く、年齢が上がるほど低い傾向がみられる。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は20代（5.6%）と50代（2.5%）で一定の割合があるが小さい。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は60代（79.2%）が最も高く、最も低い10代（54.9%）と24.3ポイントの差がある。「女性の方が優遇されている」は全年代で5%以下と低い。



【属性別比較】

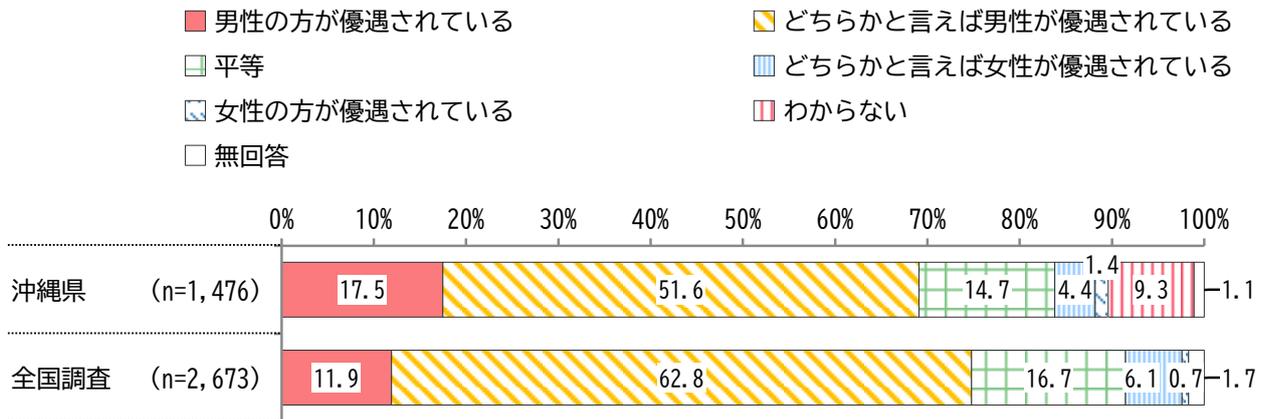
(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	28.9	45.5	12.9	2.3	0.8	8.3	1.2
性別	女性	839	35.4	45.4	8.3	1.3	-	8.0	1.5
	男性	623	20.2	45.7	19.1	3.7	1.9	8.5	0.8
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	33.6	43.3	9.0	2.2	-	11.9	-
	女性・40代以上	571	36.3	46.4	8.1	0.9	-	6.1	2.3
	男性・10～30代	163	18.4	38.0	22.7	4.3	3.7	11.7	1.2
	男性・40代以上	460	20.9	48.5	17.8	3.5	1.3	7.4	0.7
居住地	那覇	312	31.7	48.4	9.6	1.3	1.3	5.8	1.9
	北部	130	29.2	43.8	10.8	2.3	-	11.5	2.3
	中部	643	28.8	44.5	13.5	2.8	0.8	8.6	1.1
	南部	280	25.0	50.0	12.9	2.1	1.1	8.2	0.7
	宮古	49	24.5	38.8	20.4	2.0	-	14.3	-
	八重山	62	37.1	30.6	21.0	3.2	-	8.1	-
小学生以下の子ども の有無	小学生以下の子あり	319	36.4	39.8	12.5	1.9	1.3	7.8	0.3
	小学生以下の子なし	643	27.1	49.6	12.3	1.9	0.6	6.5	2.0
婚姻状況	既婚	911	30.2	47.6	11.7	1.9	0.8	6.6	1.2
	パートナーと暮らして いる	34	29.4	58.8	8.8	-	-	2.9	-
	離別・死別	141	31.2	41.1	14.9	2.1	0.7	7.8	2.1
	未婚	383	25.3	41.0	14.9	3.7	1.0	13.1	1.0

⑧ 社会全体でみた場合

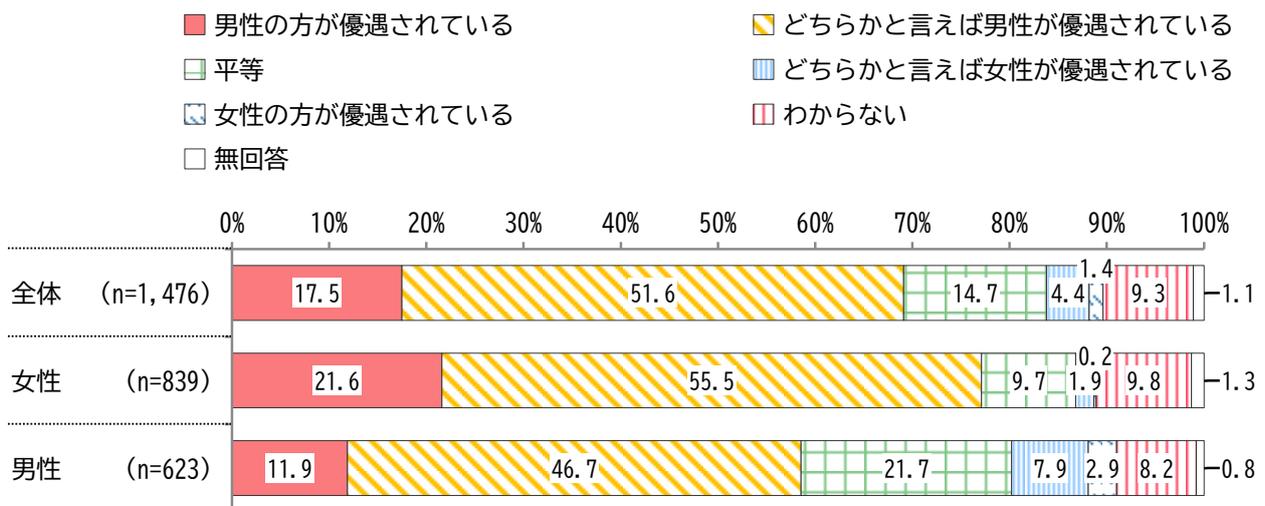
【全国調査比較】

- 全国調査と比較すると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は沖縄県が 51.6%で全国 (62.8%) より 11.2 ポイント低く、「平等」は 14.7%で全国 (16.7%) より 2.0 ポイント低い。「男性の方が優遇されている」は 17.5%で全国 (11.9%) より 5.6 ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は 4.4%で全国 (6.1%) より 1.7 ポイント低い。



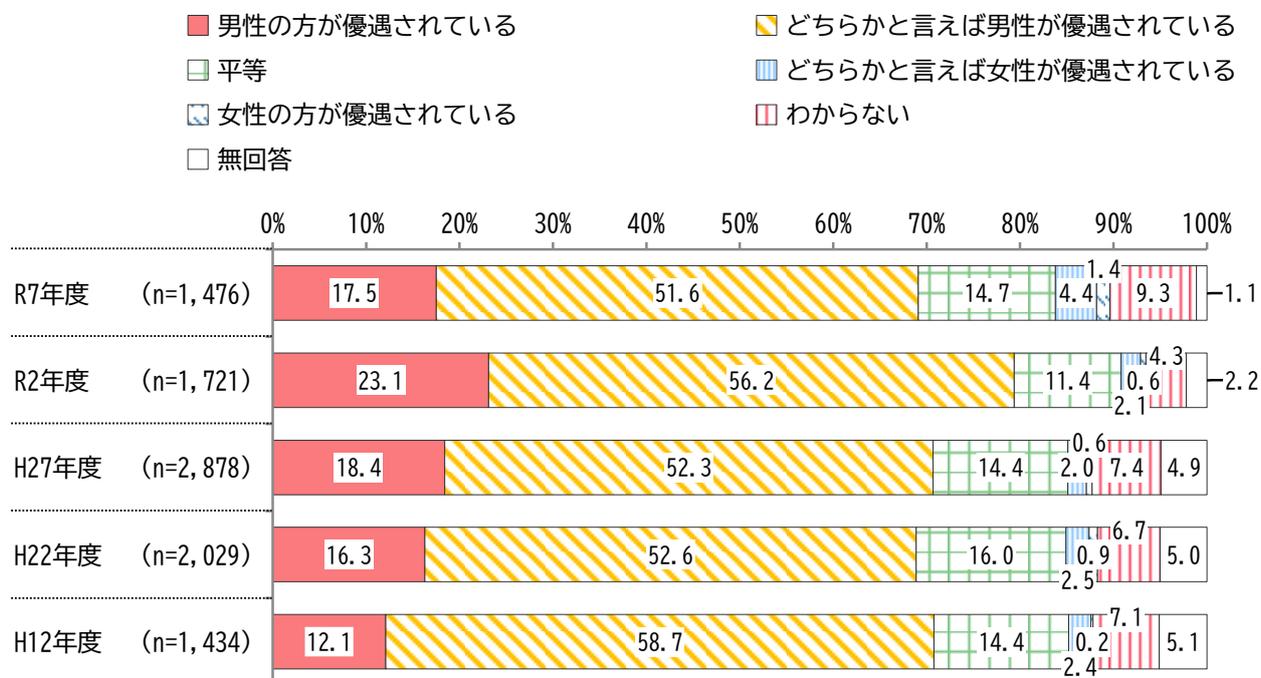
【性別比較】

- 性別でみると、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性が優遇されている」の合計は女性 (77.1%) が男性 (58.6%) より 18.5 ポイント高く、女性は社会全体での男性優遇をより強く感じている。「平等」は男性 (21.7%) が女性 (9.7%) より高く、認識に大きな差がみられる。「どちらかと言えば女性が優遇されている」は男性 (7.9%) が女性 (1.9%) より高い。「女性の方が優遇されている」も男性 (2.9%) が女性 (0.2%) より高いが、全体として認識は低い。



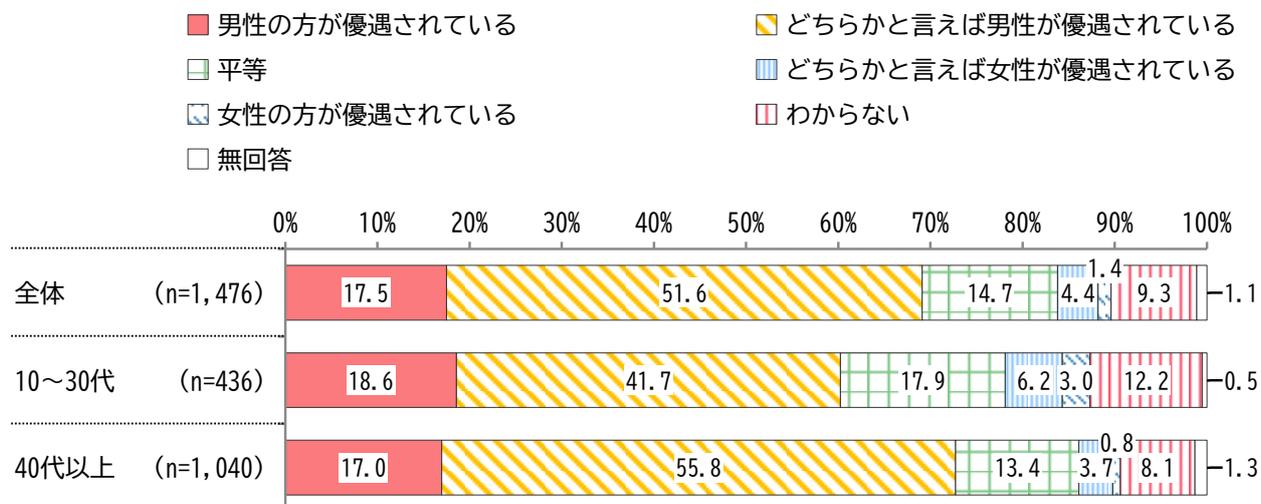
【経年比較】

- 経年で比較すると、R7年度は「男性の方が優遇されている」(17.5%)と「どちらかと言えば男性が優遇されている」(51.6%)がR2年度(23.1%、56.2%)より低いものの、男性優遇の認識が最も多い状況が続いている。「どちらかと言えば女性が優遇されている」はR7年度(4.4%)が他年度と比べ最も高い。



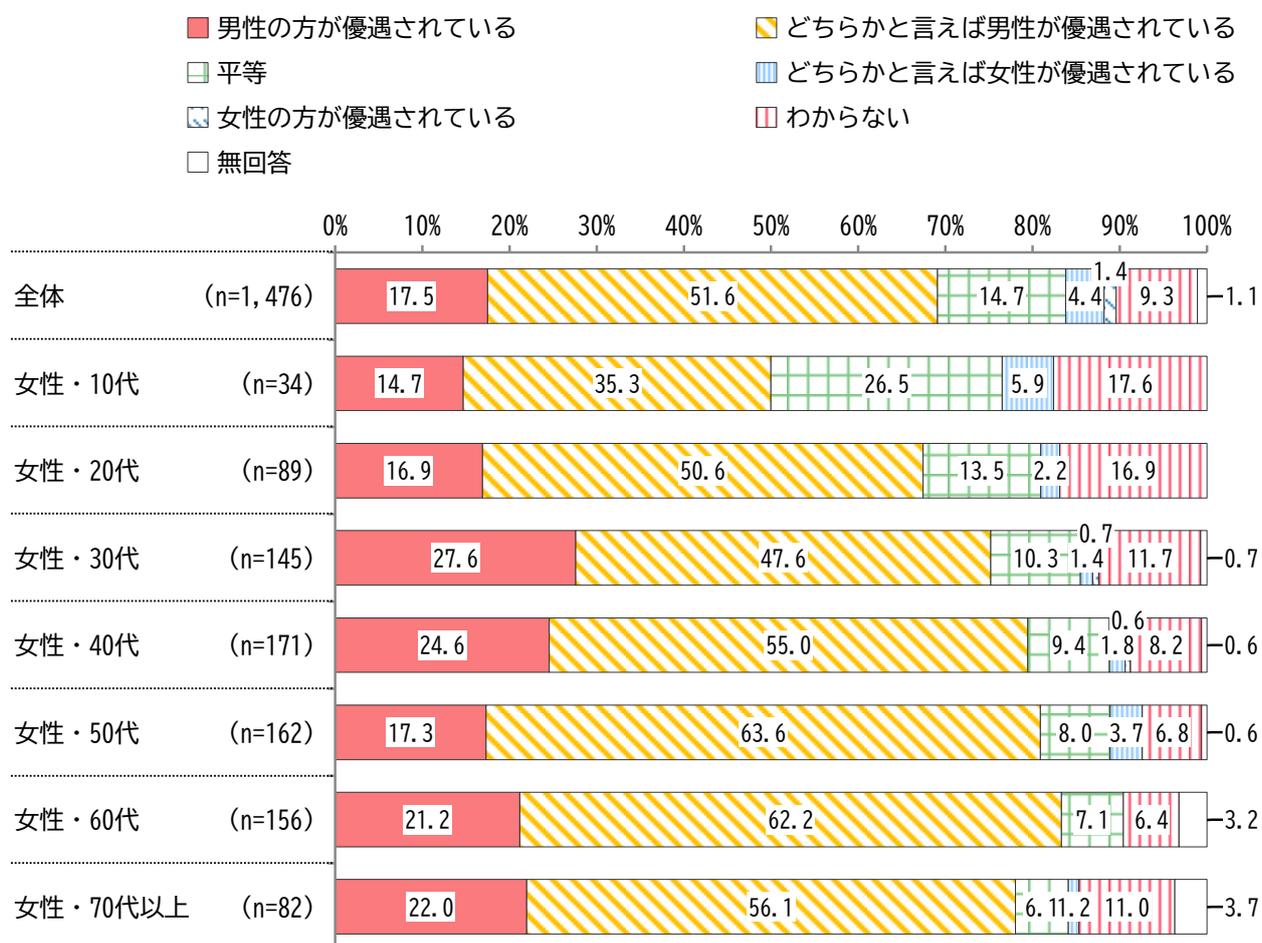
【年齢層別比較】

- 年齢層別でみると、「どちらかと言えば男性が優遇されている」は10~30代が41.7%で40代以上(55.8%)より14.1ポイント低く、「平等」は17.9%で40代以上(13.4%)より4.5ポイント高い。「男性の方が優遇されている」は18.6%で40代以上(17.0%)より1.6ポイント高く、「どちらかと言えば女性が優遇されている」は6.2%で40代以上(3.7%)より2.5ポイント高い。



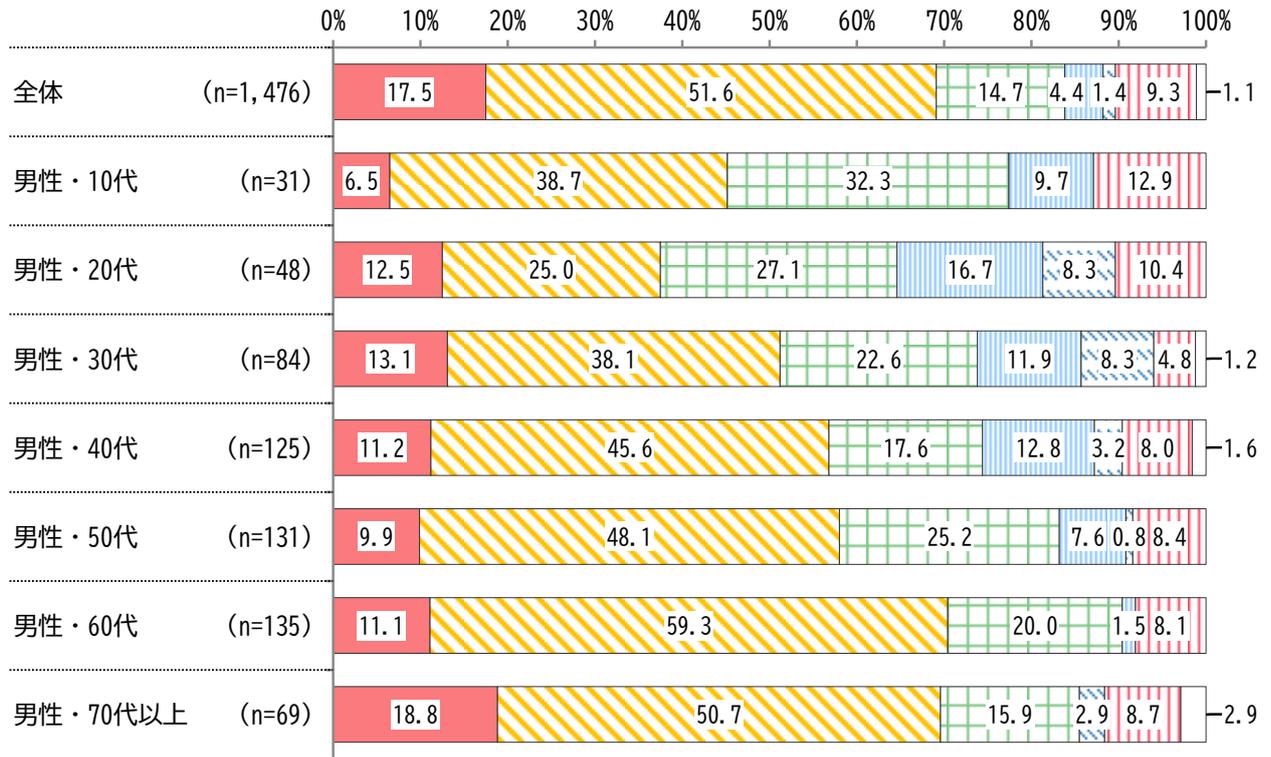
【女性・年代別比較】

- 女性・年代別で比較すると、「平等」は10代（26.5%）が相対的に高く、年代が上がるほど低い傾向がみられる。



【男性・年代別比較】

- 男性・年代別で比較すると、「平等」は10代（32.3%）と20代（27.1%）で相対的に高く、年代が進むにつれて低くなる傾向がみられる。



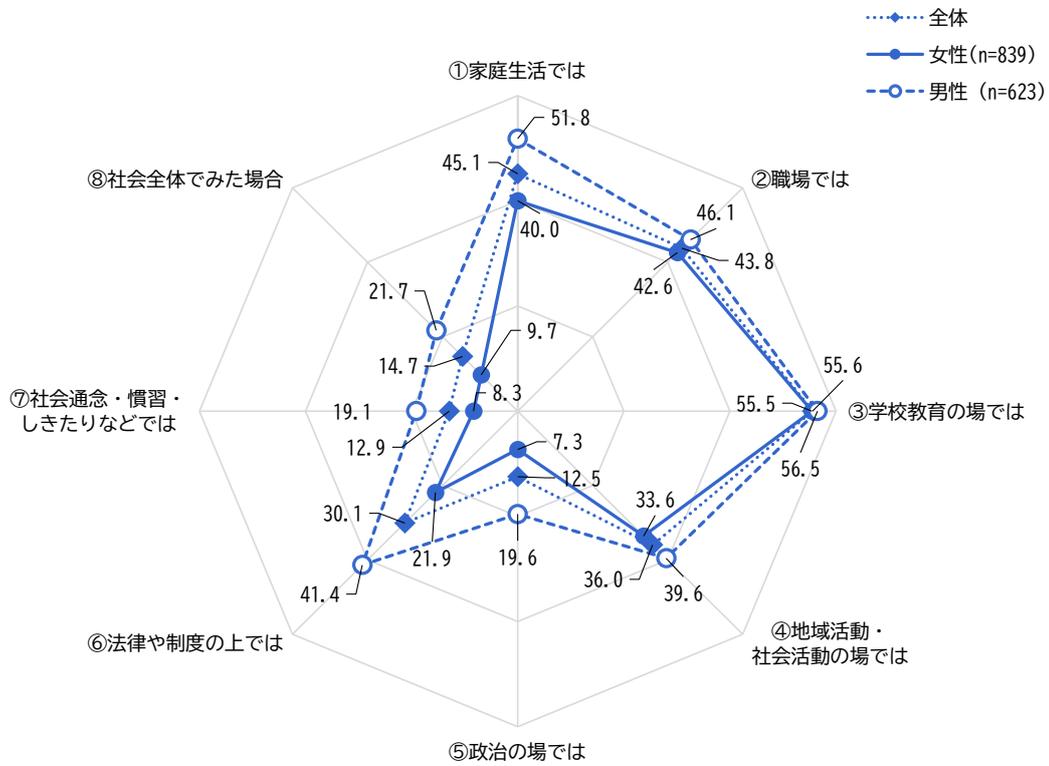
【属性別比較】

(%)

		n	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全体		1,476	17.5	51.6	14.7	4.4	1.4	9.3	1.1
性別	女性	839	21.6	55.5	9.7	1.9	0.2	9.8	1.3
	男性	623	11.9	46.7	21.7	7.9	2.9	8.2	0.8
性別・年齢層別	女性・10～30代	268	22.4	47.0	13.4	2.2	0.4	14.2	0.4
	女性・40代以上	571	21.2	59.5	7.9	1.8	0.2	7.7	1.8
	男性・10～30代	163	11.7	34.4	25.8	12.9	6.7	8.0	0.6
	男性・40代以上	460	12.0	51.1	20.2	6.1	1.5	8.3	0.9
居住地	那覇	312	20.8	50.0	15.7	4.2	1.6	6.4	1.3
	北部	130	16.9	46.9	17.7	6.2	-	10.8	1.5
	中部	643	17.7	52.1	12.9	4.8	2.0	9.2	1.2
	南部	280	13.6	54.3	15.7	3.9	0.4	11.4	0.7
	宮古	49	12.2	57.1	20.4	-	-	10.2	-
	八重山	62	21.0	48.4	12.9	3.2	3.2	11.3	-
小学生以下の子ども の有無	小学生以下の子あり	319	22.3	48.0	14.7	6.0	1.9	6.3	0.9
	小学生以下の子なし	643	16.5	57.7	13.4	2.5	0.9	7.8	1.2
婚姻状況	既婚	911	18.8	54.0	13.9	3.7	1.3	7.2	1.0
	パートナーと暮らして いる	34	17.6	58.8	5.9	11.8	-	5.9	-
	離別・死別	141	15.6	56.0	12.1	2.1	1.4	11.3	1.4
	未婚	383	15.1	43.9	18.0	6.0	1.8	13.8	1.3

(2) 各分野の平等感について

- 分野ごとの平等感をみると、「⑤政治の場」男性（19.6%）女性（7.3%）、「⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは」男性（19.1%）女性（8.3%）では、男女ともに低い水準になっている。



(3) 分析・考察

本調査結果から、沖縄県における男女平等に関する意識の最大の特徴は、実生活と社会通念・慣習における平等感のギャップにあることが分かる。

家庭生活や職場では、過去の調査と比較して平等感が顕著に高まっているとともに、全国調査との比較においても際立って高い。経済的な理由から共働きが当たり前となると、家計管理や家事育児分担も、ある程度、夫婦共同で行わないことには実生活が機能しない現状がある。女性の高い非正規雇用率に加え、男性の非正規雇用率も高い沖縄においては、男性が経済的に優位に立てない世帯も少なくない。しかし、家庭生活において「どちらかといえば男性が優遇」と答えた人が3割、職場では2.5割いることを考えると、実生活においてジェンダー平等が達成されたとは考えられない。実際に「共働きでの家事や育児の担い手」に不平等だと答えた女性は半数近くあり、「病人の看護や高齢者の介護の担い手」に関しては、3.5割の女性が不平等だと感じている。この割合は、前調査と比較して増加している。増加の原因はジェンダー意識の高まりとも解釈できるであろうが、依然、不平等感が高いことに変わりはない。

さらに深刻なのは、社会通念・慣習・しきたり等における不平等感である。「旧盆・正月等の行事の準備」においては、女性の約半数が不平等感を持っており、前調査よりも高くなっている。地域の伝統文化の継承においては、昔と変わらない形で残すという前提がある一方、現在の価値観やライフスタイルとのギャップがあることは否めない。伝統行事において特権的立場にある男性が「伝統」に固着し、女性が人権としてのジェンダー平等意識を持つ場合、本来地域の和合や先祖への感謝を表すはずの伝統行事が、その本質を失い、男女間の分断へとつながりかねない。伝統行事の本質を見極めつつ、人権としてのジェンダー平等を担保することが求められている。

学校教育の場においては、過去の調査と比較しても大きな変化はなく、半数以上が「平等」と感じている。全国調査の7割よりは低いものの、社会生活のなかで、最も平等感の高い分野である。男女混合名簿が標準となり、制服選択制やジェンダーセンシティブな制服を採用する学校も増加するなか、ジェンダー平等を含め人権意識が最も進んだ公共の場という人々の認識がうかがわれる。しかしケア活動が中心の運動部マネージャーが女性に偏っていることや、必ずしも機能的でないスカートが制服に採用され続けるなど、「隠れたカリキュラム」が教育現場でジェンダーの偏りを再生産しているという指摘もある。若い世代の意識の醸成に重要な役割を果たすことから、今後も学校教育への期待は大きくあり続けるだろう。

社会全体の構造的・制度的分野では、「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」の回答を合わせると約7割となる。政治や経済の領域において意思決定層への女性参画の少なさや、性別役割分担意識の根強さが影響していると考えられるが、これらの男女間における不平等感ギャップの大きさは注目に値する。政治の場や法律・制度の上など、社会全体における全ての領域で、女性の方が男性よりも不平等感を持っている。男性が特権的立場にあることに対して無自覚であることから、男性の当事者意識を促す啓発アプローチが必要である。実生活において必要に迫られてケア労働をしている実態を、仕方なく受け入れる段階から、夫婦間の真のパートナーシップや「男らしさ」の再定義、伝統行事における性別役割分担の見直しなど、男性自身の意識変革への働きかけが今後の重要課題である。

(沖縄キリスト教学院大学 新垣 誠)